

令和2年度

自己点検・評価書
(学校評価報告書)

大阪教育大学附属平野中学校

1 附属平野中学校の現況

(1) 学校名

大阪教育大学附属平野中学校

(2) 所在地

大阪市平野区流町2-1-24

(3) 学級数・収容定員

9学級(1学年3学級) 収容定員324人(1学級36人)

(4) 幼児・児童・生徒数

322人(男子138人・女子188人)

(5) 教職員数

校長(併任) 1人、副校長 1人、主幹教諭 1人、指導教諭 2人、教諭 15人 非常勤講師 10人
事務補佐員 4人、<図書館司書1人>、用務員2人(うち併任1人)

2 附属平野中学校の特徴

伝統的に「行事で育つ附中生」と言われている。たとえば伝統行事の一つとして、昭和22年から、毎年、臨海学舎を実施しており、現在は岡山県倉敷市(六口島)で、1kmと3kmの遠泳を行っている(今年度は中止)。また、大阪教育大学、附幼・附小・附高・附特支と連携・共同を基盤とした教育研究を推進している。

3 附属平野中学校の役割

- (1) 大学と一体となって、教育の理論と実際に関する研究並びにその実証を行う任務
- (2) 大学学生の教育の実地研究を行う任務
- (3) 他の学校との研究の交流を行い、提携して教育の振興に努める

4 附属平野中学校の学校教育目標

- (1) 物事を合理的、科学的に探究し、豊かな創造性をもつ人間
- (2) 集団の規律を育て、情操豊かで、実践的意志力をもつ人間
- (3) 自他の生命を尊重し、心身を鍛え、健康の維持増進に努める人間

5 附属平野中学校の学校教育計画

- (1) 安全で、安心して過ごせる教育環境の整備
 - 教職員全員で危機管理・危機対応に向かう
 - 子どもの変化を見取り、子どもの悩みに答える
 - 安全で清潔な学習環境を整える
- (2) 健やかな身体と豊かなこころを育む教育活動の充実
 - 臨海学舎・体育的行事・学校保健・保健体育教育を通じて健やかな身体の基礎を育てる
 - 学校行事・生徒会活動・係り活動を通じて社会性を育てる
 - 道徳教育・進路学習を充実し、豊かなこころを育み自分の生き方を考える
- (3) 「考え、確かめ、発動する力」を育む
 - 「考える力」「確かめる力」「発動する力」の本質を見極め、三つの力を相互に働かせる機会を明確に位置つけた授業づくり
 - 「基礎学力の定着」と「創造性の伸張」のバランスのとれた授業づくり
 - 状況に応じて遅く学ぶ授業の設計

6 附属平野中学校の令和2年度 重点目標(評価項目)、具体的な取組内容(評価指標)・評価結果

評価の基準

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	おおむね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校教育目標	(1) 物事を合理的、科学的に探究し、豊かな創造性をもつ人間 (2) 集団の規律を育て、情操豊かで、実践的意志力をもつ人間 (3) 自他の生命を尊重し、心身を鍛え、健康の維持増進に努める人間
学校教育計画	(1)「安全で、安心して過ごせる教育環境の整備」 (2)「健やかな身体と豊かなこころを育む教育活動の充実」 (3)「考え、確かめ、発動する力」を育む

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1) 安心・安全・ 信頼される学 校	①様々な場面を想定し、 教職員全員で危機管 理・危機対応に向かう。	・大和川氾濫想定防災訓練、および 水泳事故緊急通報訓練(救助を含む) を企画した。 ・防火・防犯訓練については新型コロナ ウイルス感染症対策の影響で、十分 な訓練ができなかった。	・様々なバリエーションの提案につ いては、シミュレーションなどを含 め、十分な準備期間を設けて実 施に移すようにする。	B	・実際の災害時に生きて働 く力となるよう、十分に事 前の準備を行い、価値あ る訓練となるようにしてほし い。	B	・計画の立て方を見直し、分 掌内でシミュレーションを重 ね、より実効性のある訓練 を実施できるよう、練り上げ て提案できるようにしたい。
	②子どもの変化をすばや く見取り、子どもの悩み に適切に答える。	・Q-U検査を実施し、学級集団の実態 の把握に努めた。 ・学年打ち合わせを入念に行い、情報 共有に努めた。	・Q-Uについて、さらに理解を深め るため、講師を招いての研修を企 画する。	B	・方法としては妥当であると 考える。精度が上がるよう 引き続きがんばってほし い。	B	・研修の打ち方が難しい一 年であった。来年度は、外 部講師の招聘を実施した い。

	③教室環境を整え、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努める。	・新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた感があるが、教室その他の消毒や換気など、安心安全な教室環境を実現することができた。	・安心安全に加え、できるだけ簡便に実現できるような方法を考えていきたい。	A	・業務多忙の中、しっかりと対策できている。	A	・年度末に向け、光触媒の噴霧など、効率的な対策を施したい。
(2) 健やかな身体と豊かなこころを育む学校	①臨海学舎・体育的行事・学校保健・保健体育教育の在り方を見直し、身体づくりの基礎に寄与する。	・臨海学舎をはじめ、体育的行事については、さまざまな制限がかかり、従来通りの実施ができなかったが、行事内容や公開範囲を縮小するなどして、可能な限り行うことができた。	・コロナ禍の影響が、目に見えるところだけでなく、見えないところにもでてきている。今後はゼロベースでの見直しもしていかなければならないだろう。	A	・実施の難しい環境の中、様々に工夫をして、最大限の効果を生むような運営ができている。	A	・コロナ禍において、運動不足の解消は、一つの課題となっていることを常に意識したい。
	②学校行事の実施方法を工夫し、社会性の涵養を図る。	・対面でなければ行えないという考え方を改め、たとえば生徒総会など、オンラインでの実施など、あらたな方法を開拓した。	・コロナ禍でやむを得ず始めた方法の中には、今後とも活用できるものがあることを忘れないようにしたい。	B	・よく努力していることが、生徒や保護者にも伝わっている。	A	・「附中生は行事で育つ」という箴言を大切にしたい。
	③道徳教育を充実し、豊かなこころを育み自分の生き方を考える。	・引き続き、質の高い道徳授業づくりに取り組む事ができた。また、新しい評価の方法については研究発表会で提案することができた。	・道徳教材のアーカイブ化について、具体的な方法を検討、実行する。	A	・研究発表会などでも、質の高い発表がなされたと聞いている。	A	・教員がよく努力している。引き続き、よりよい教材、授業法の開発に努めたい。
(3) 「考え、確かめ、発動する力」を育む	①「考える力」「確かめる力」「発動する力」の三つの力を相互に働かせる機会を明確に位置づけた授業づくり。	・主体性コモンルーブリックを意識し、それをカスタマイズするべく、試行錯誤を重ねた。	・引き続き、主体性コモンルーブリックのカスタマイズを意識しながら授業づくりを行いたい。	A	・主体性コモンルーブリックとそのカスタマイズの提案は、公立校に対しても十分貢献できる内容である。	A	・まだまだ改善の余地はあるので、引き続き検証に努めたい。
	②「基礎学力の定着」と「創造性の伸張」のバランスのとれた授業づくり。	・総合的学習JOIN・STEPについて、探究活動の質を意識した活動ができた。一方で、基礎学力の向上については、あまり注力できなかった。	・アドバンス・スタディの活用方法について、有効な手立てを考えていきたい。	B	・「基礎」「基本」とは何かというところに立ち戻って議論し、考え直してみるのもよいかもかもしれない。	A	・基礎学力定着と創造性の伸張が両輪となって生徒を伸ばしていけるようなカリキュラム開発を目指したい。
	③コロナ禍において、学びを止めない方法を模索・実行する。	・休校期間中のオンライン学習について、設計段階から意思統一し、学校として一貫性のある授業づくりを行い、またそれを全国へ提案できた。	・GIGAスクール構想によって、整備された端末の有効な活用法を試行していく必要がある。	A	・よく努力していることが、生徒や保護者にも伝わっている。	A	・GIGAスクール構想が、プラスとなって働くよう、教員研修にも力を入れたい。

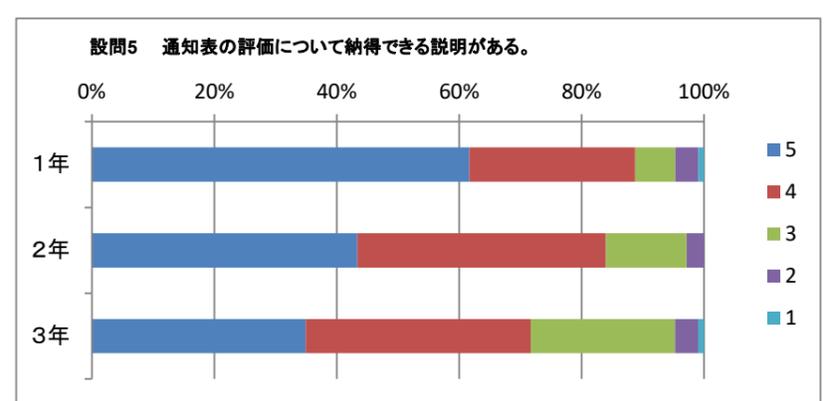
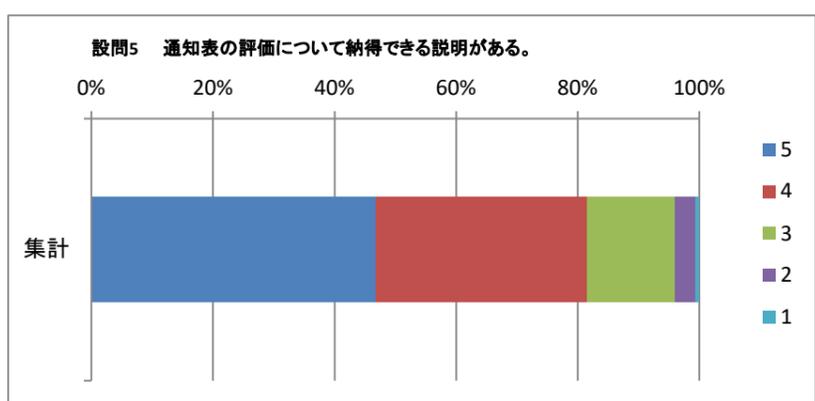
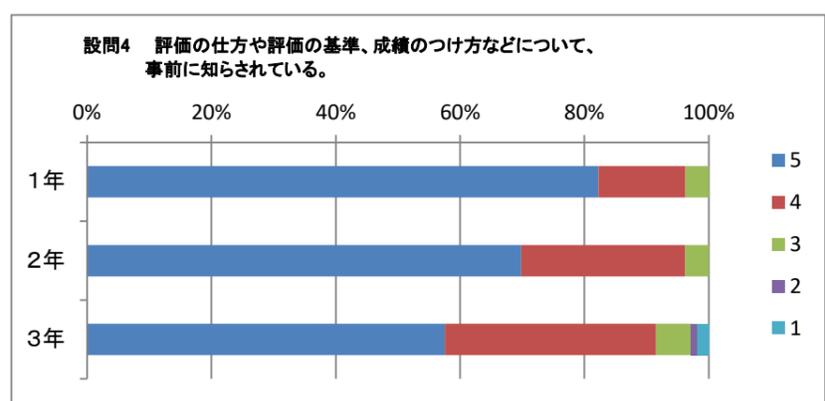
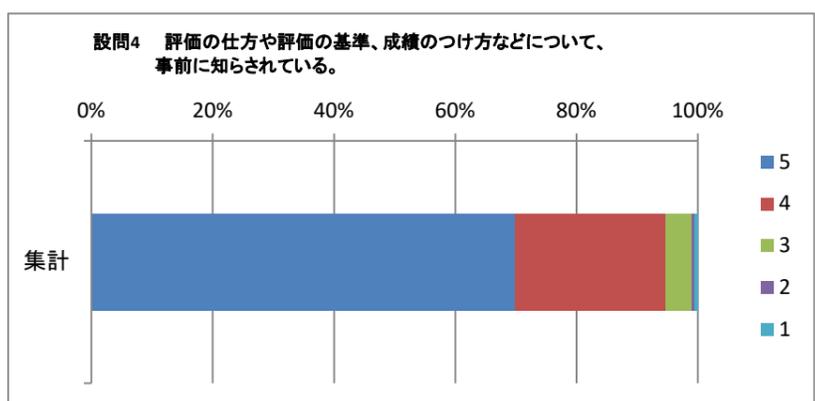
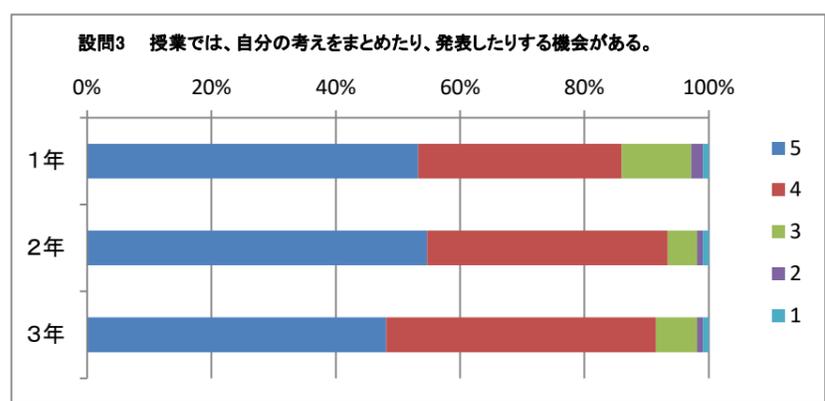
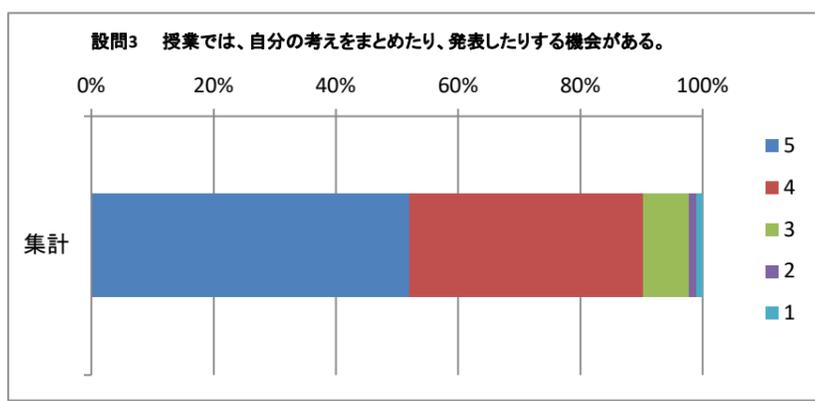
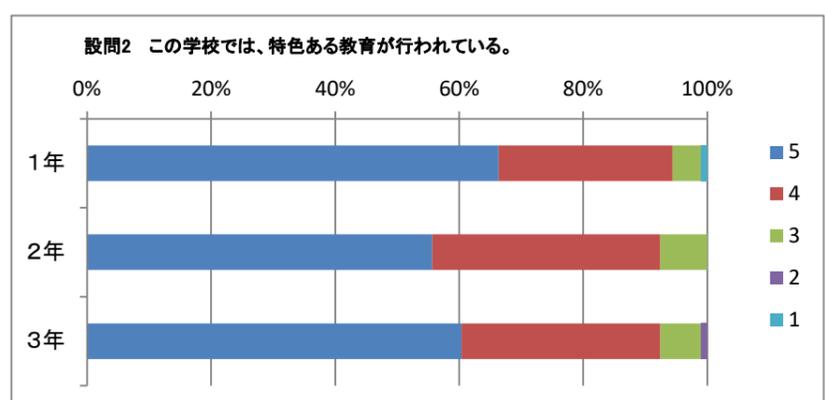
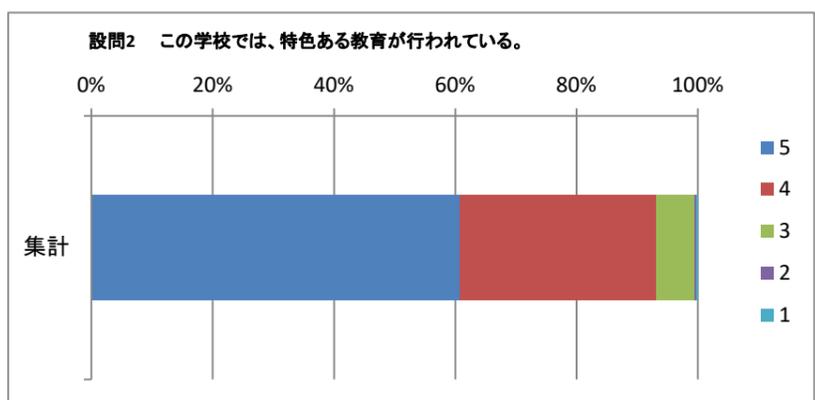
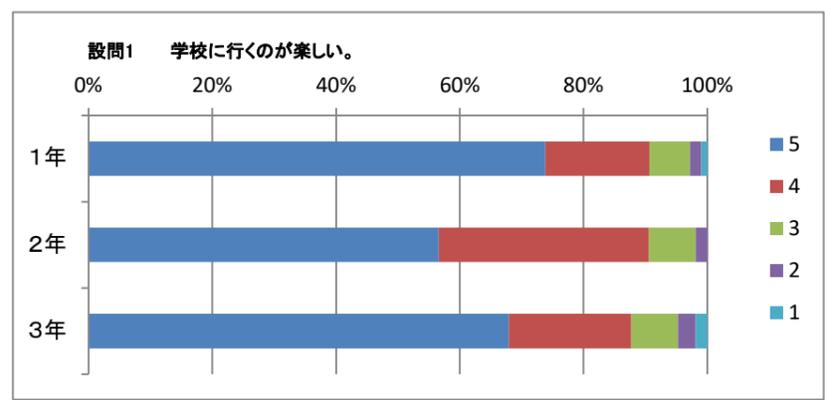
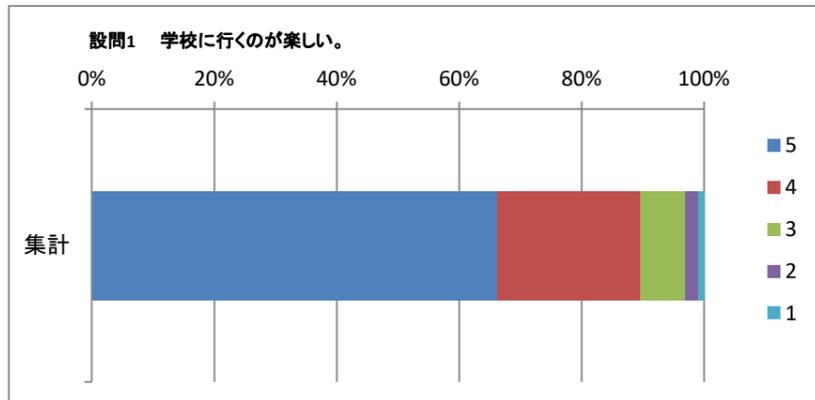
令和2年度 生徒対象 学校診断アンケート結果 R2.11.26実施

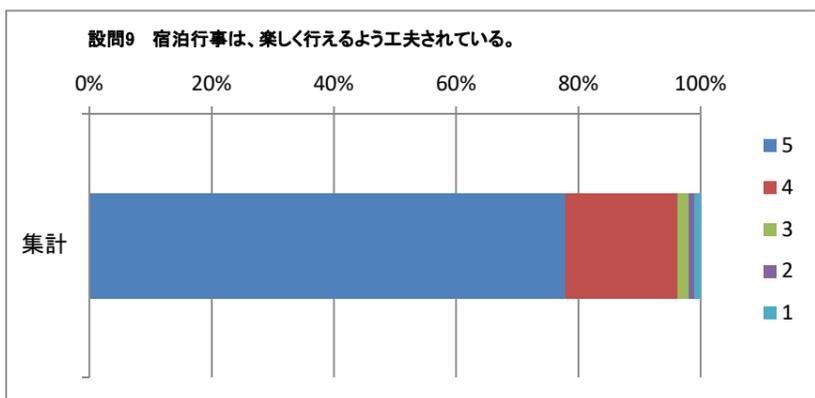
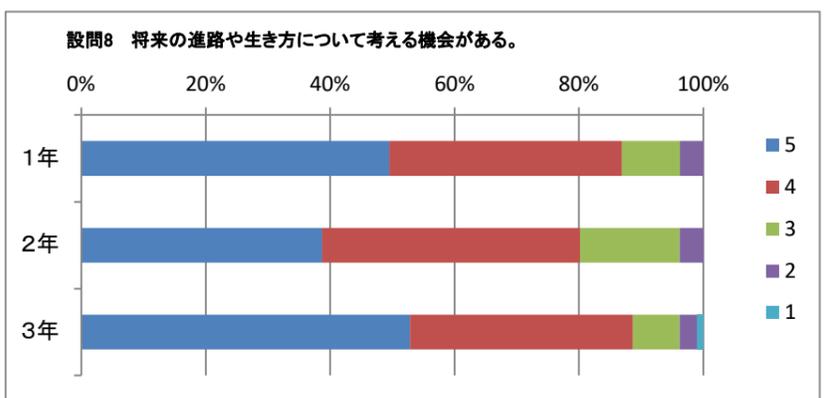
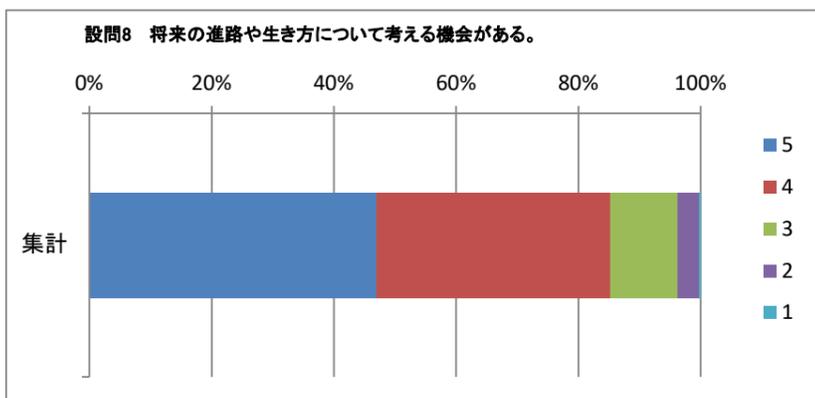
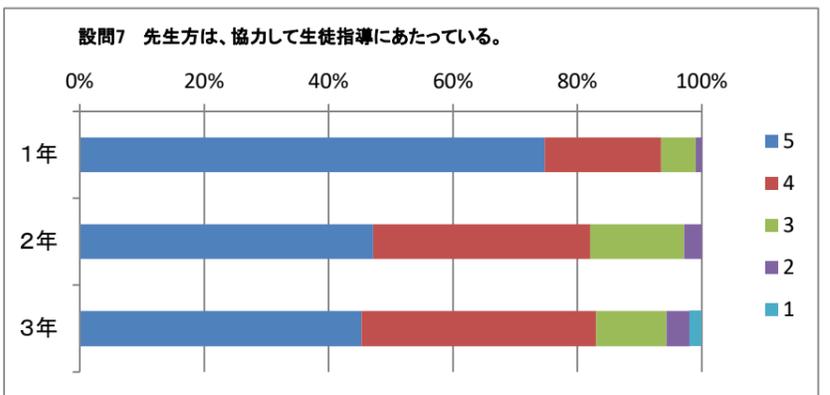
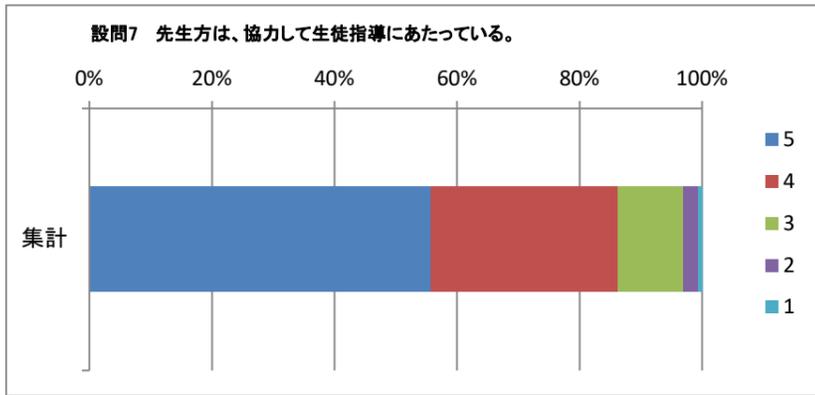
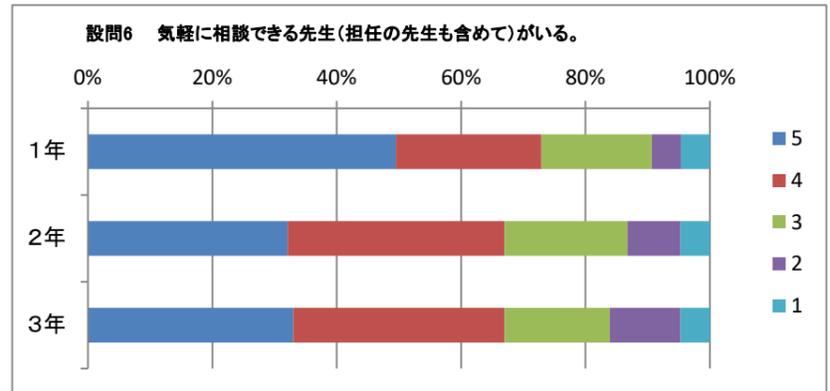
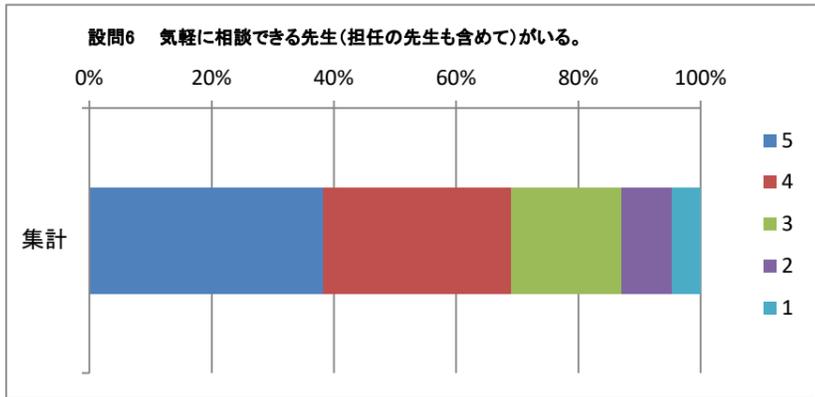
- 5 とてもあてはまる
- 4 少しあてはまる
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりあてはまらない
- 1 あてはまらない

学年	在籍数	回答数
1年	107	107
2年	108	106
3年	107	106
合計	322	319

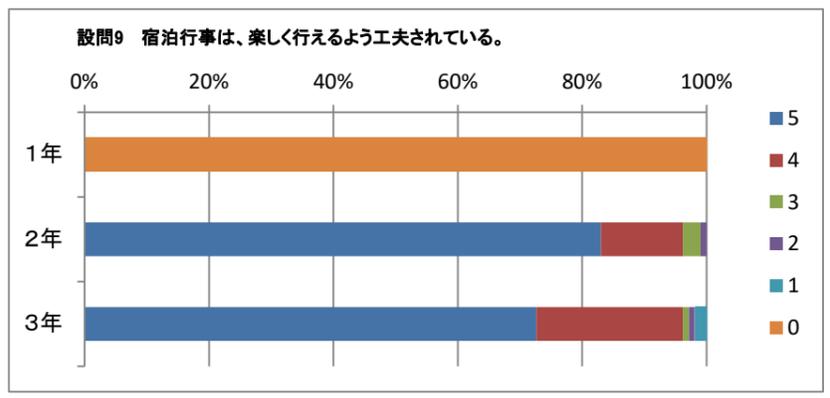
全体集計

学年別集計

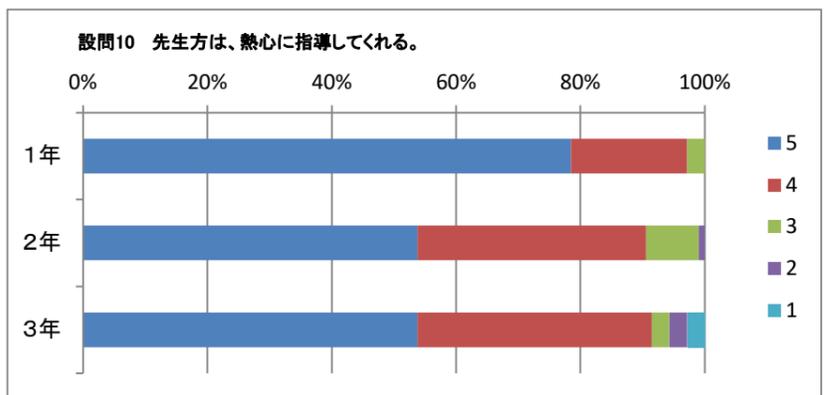
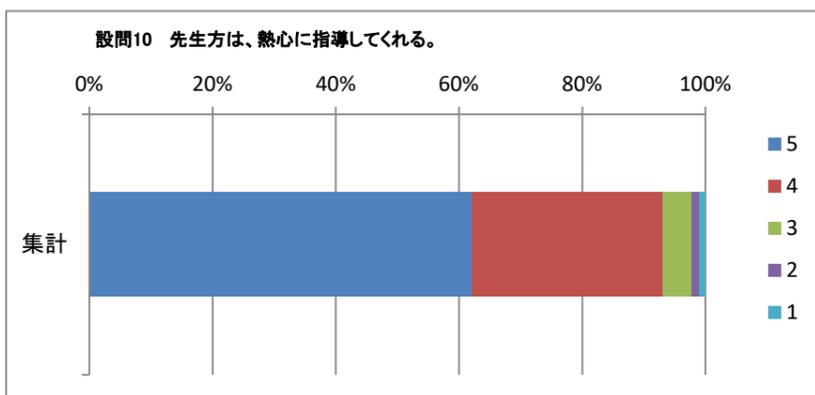


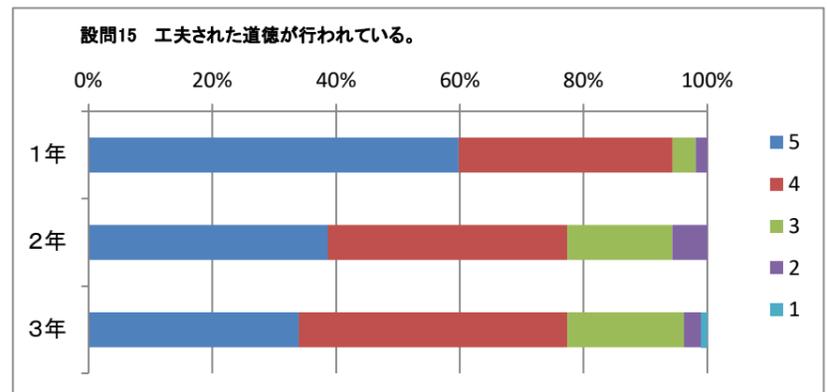
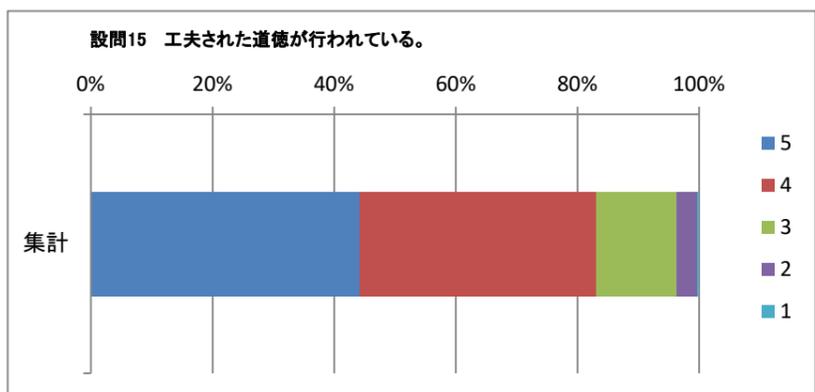
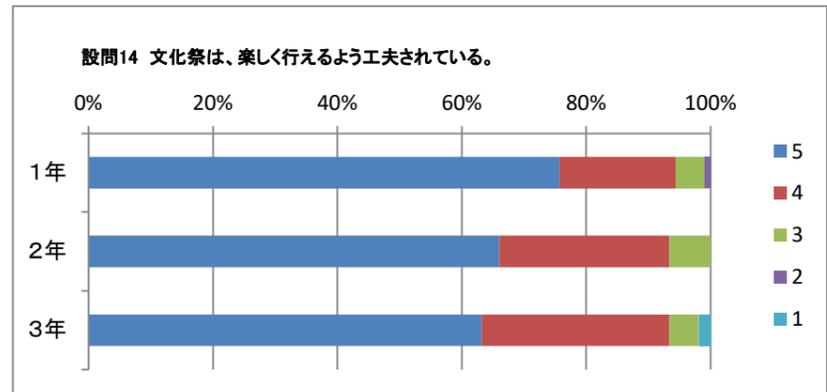
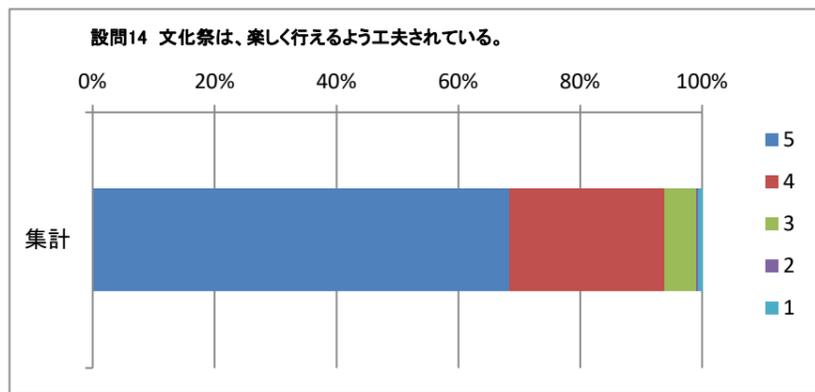
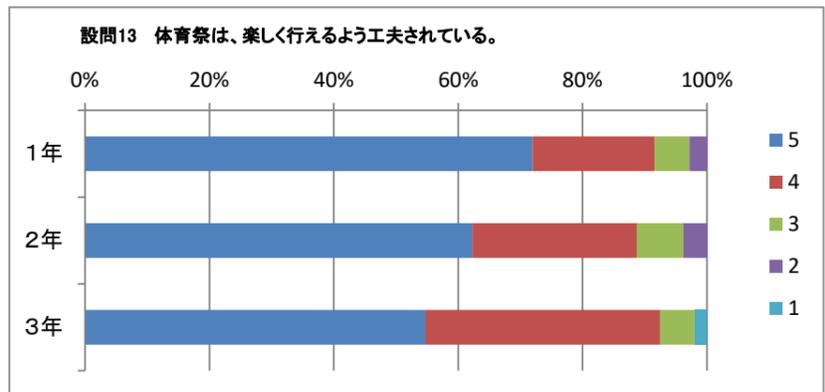
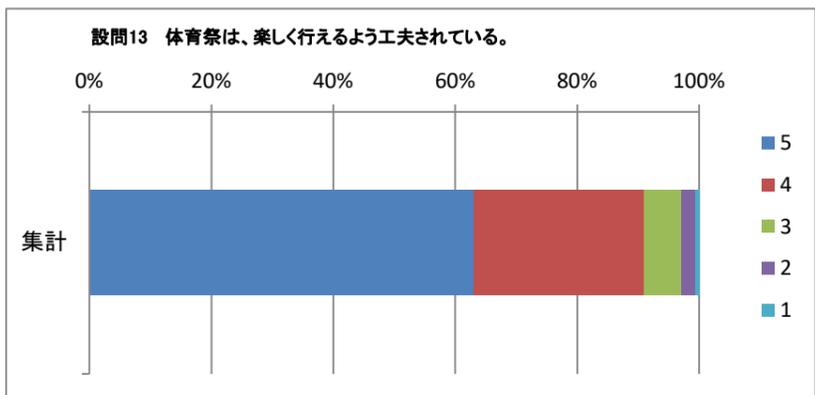
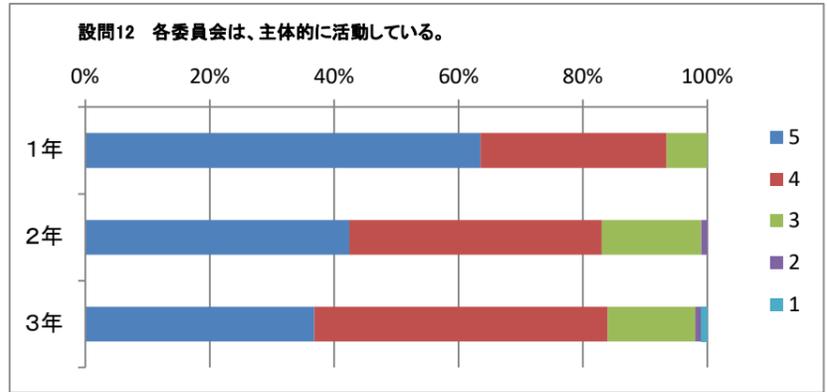
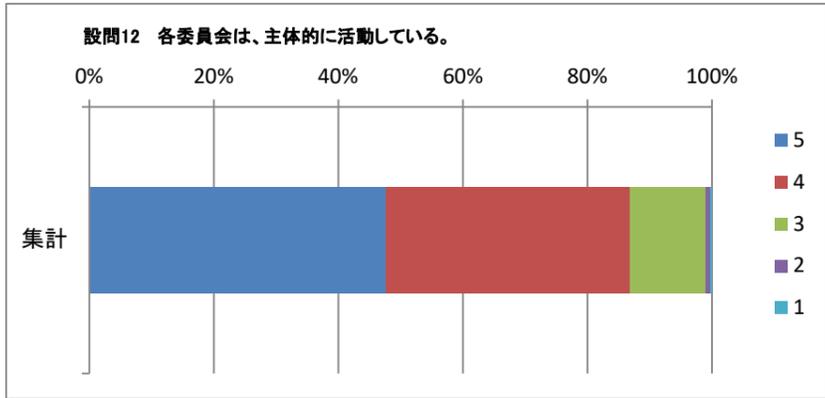
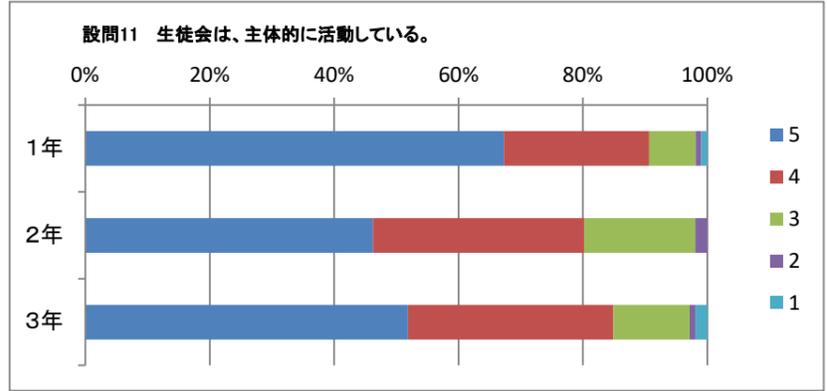
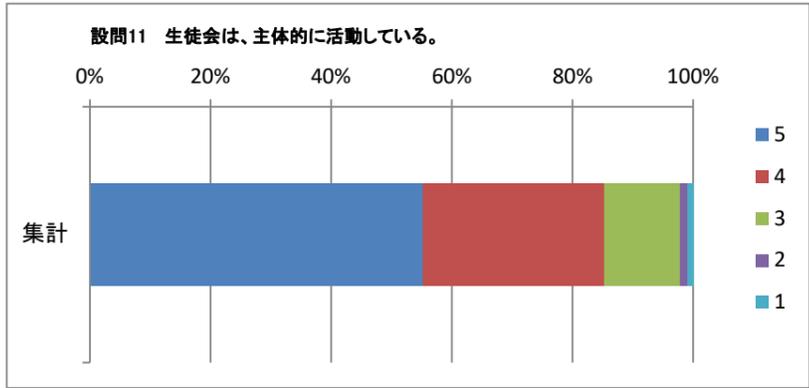


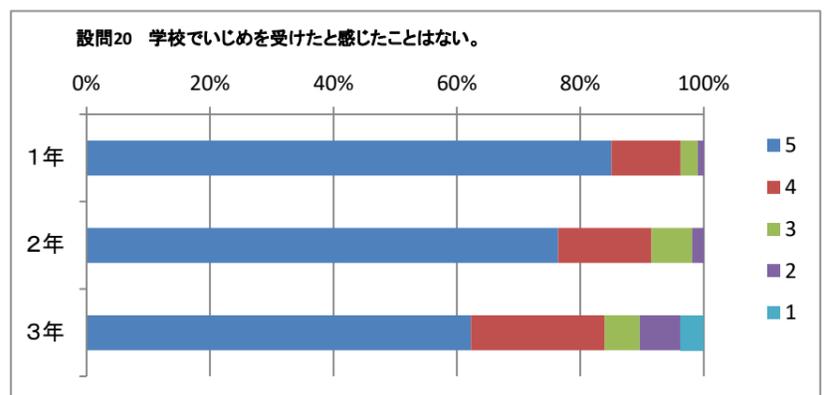
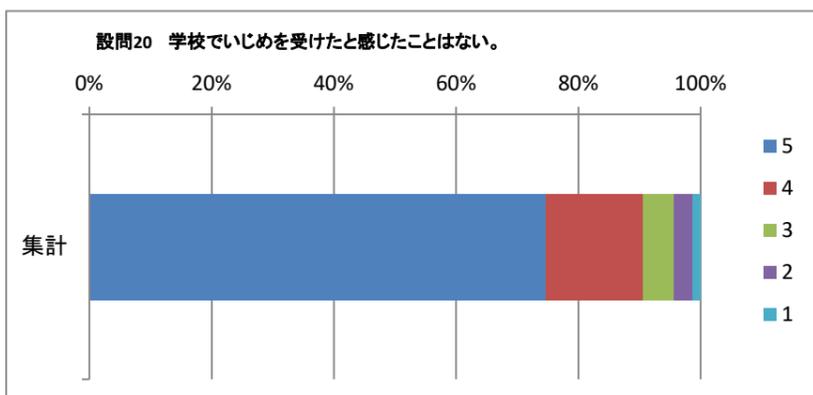
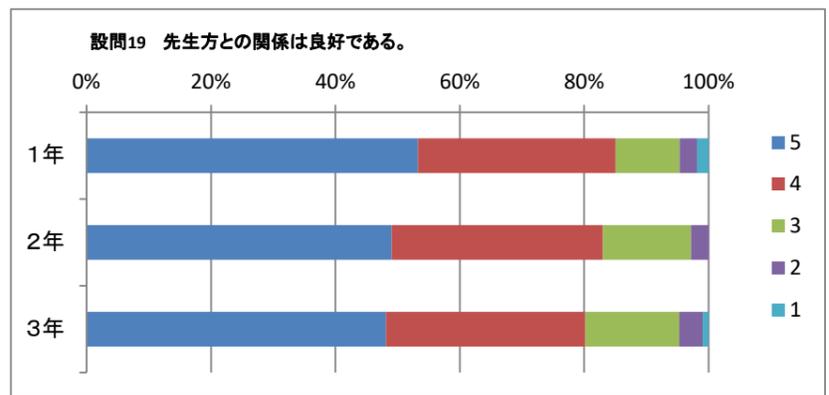
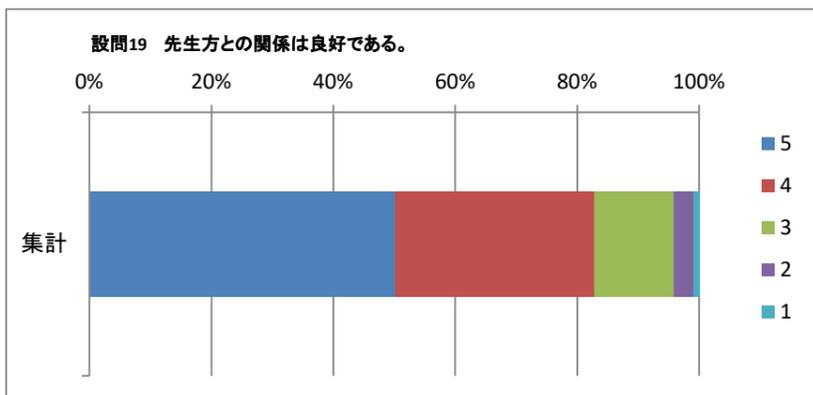
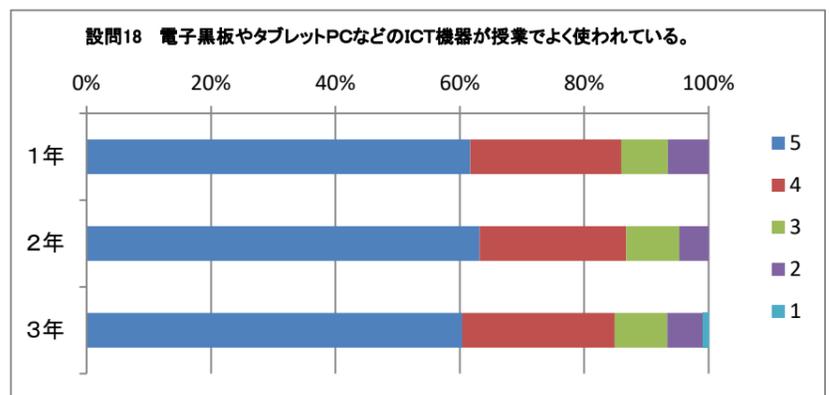
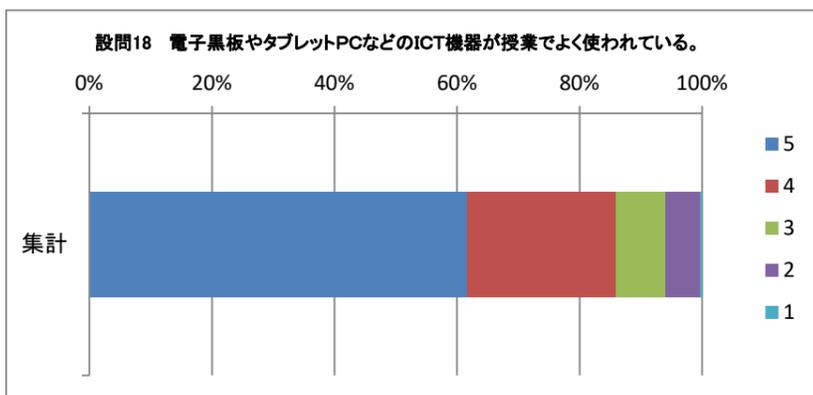
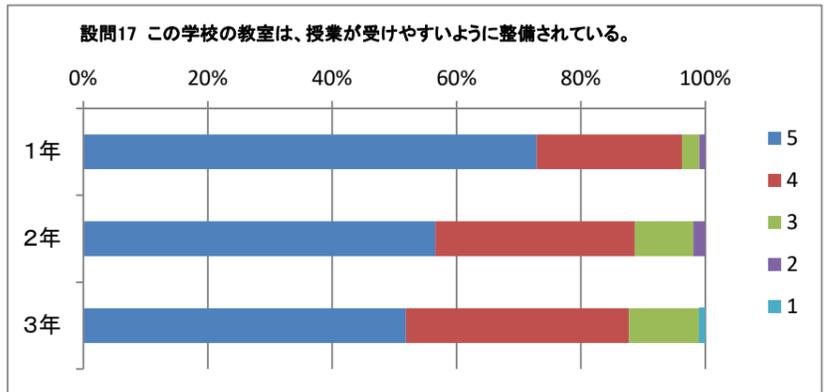
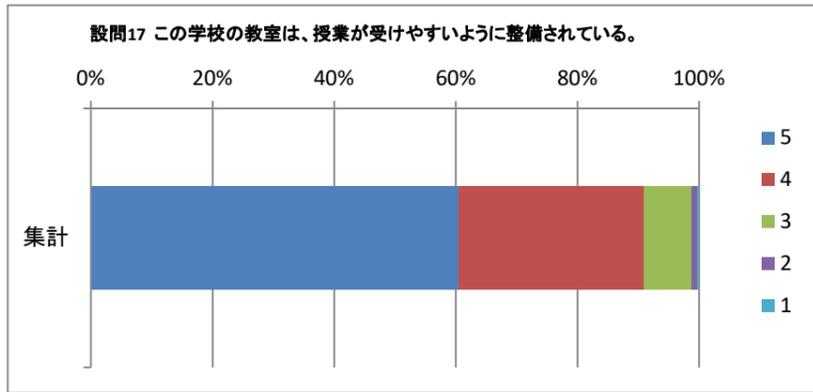
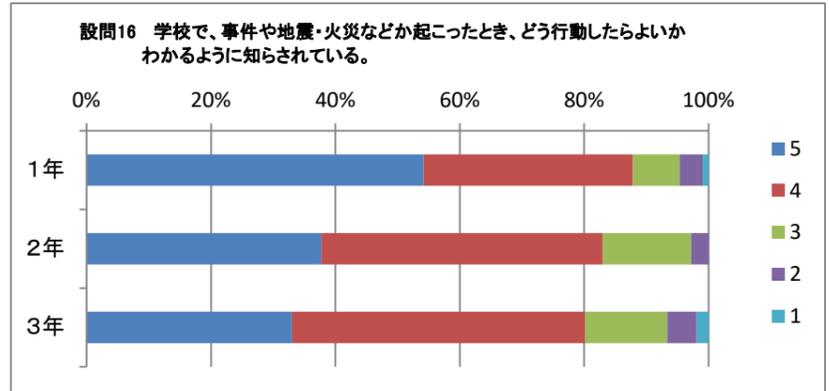
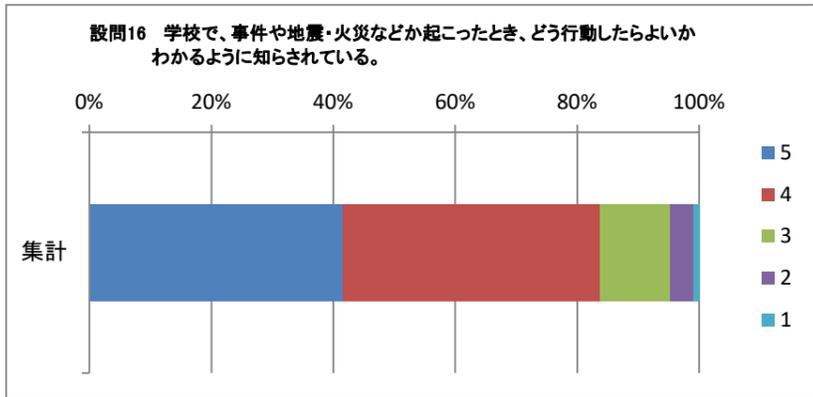
2・3年生のみ

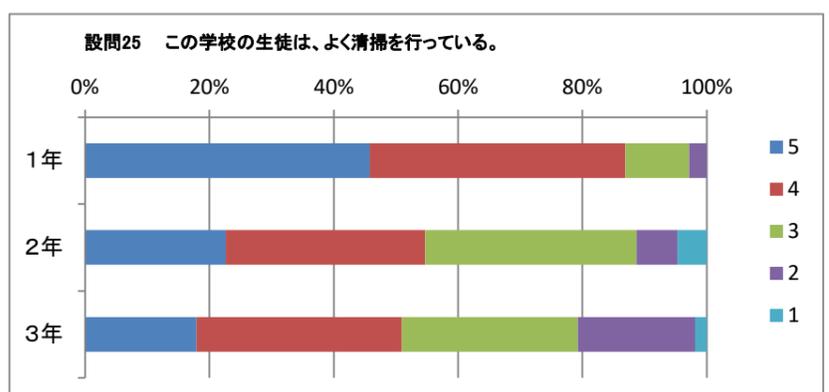
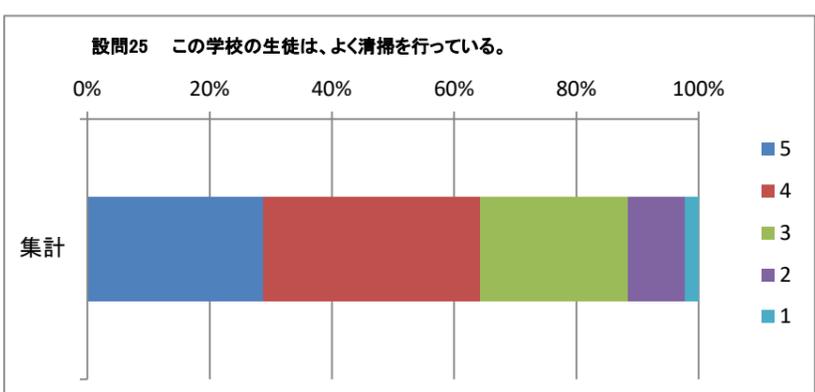
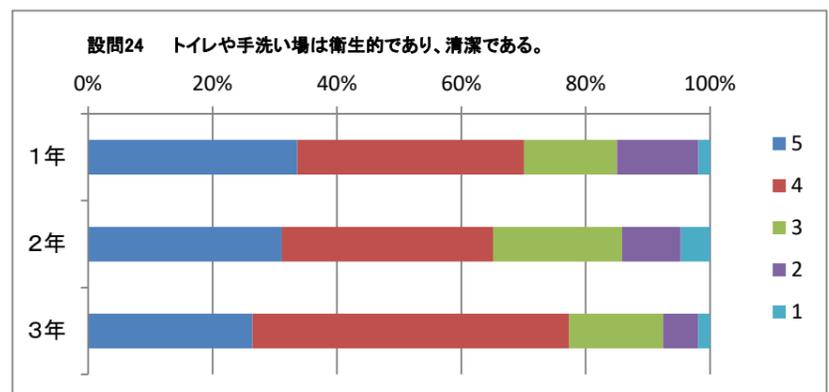
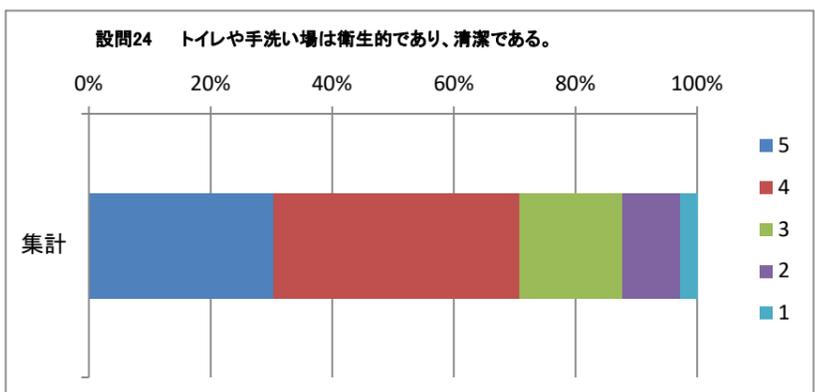
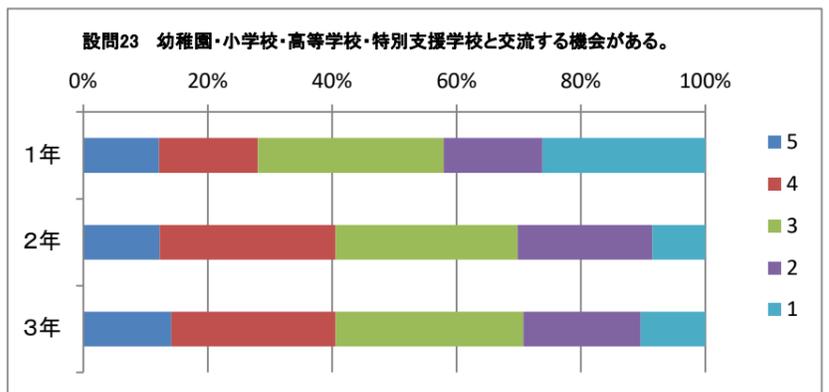
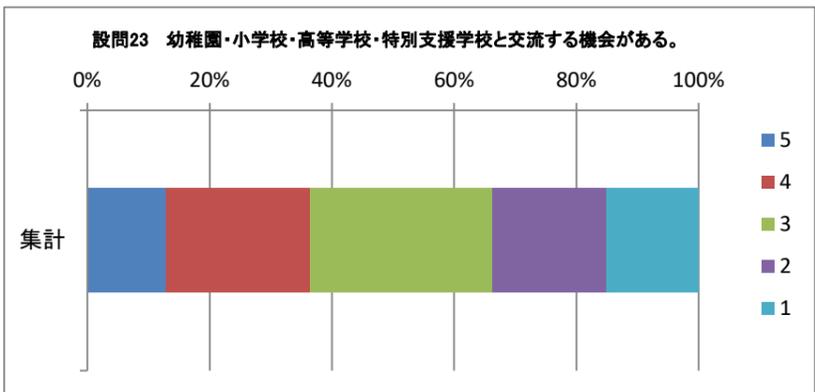
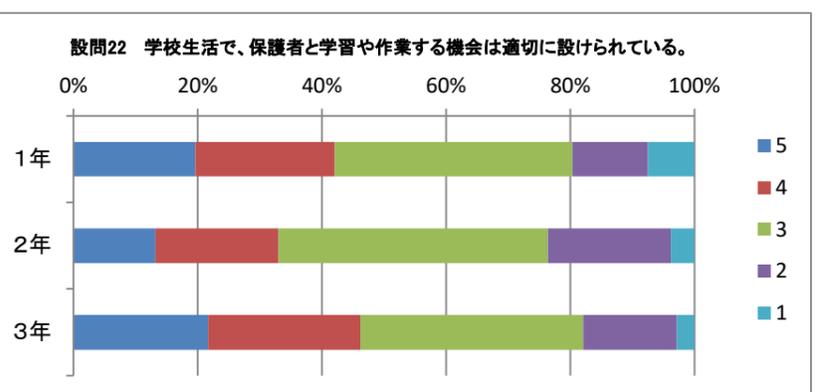
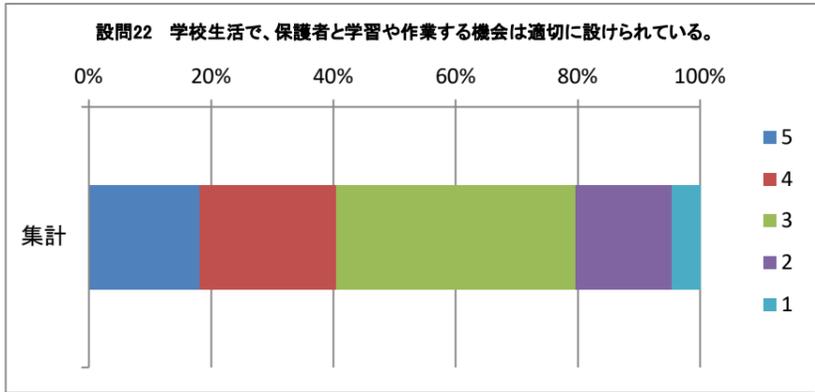
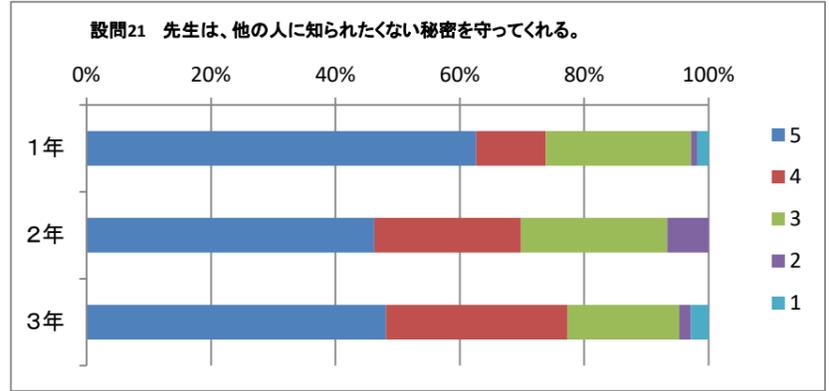
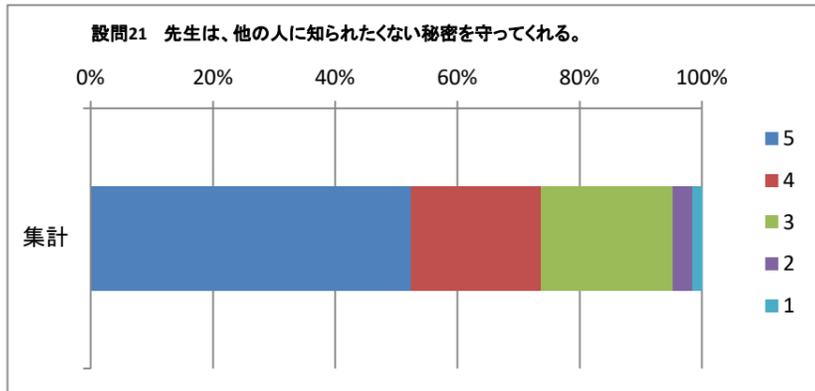


2・3年生のみ

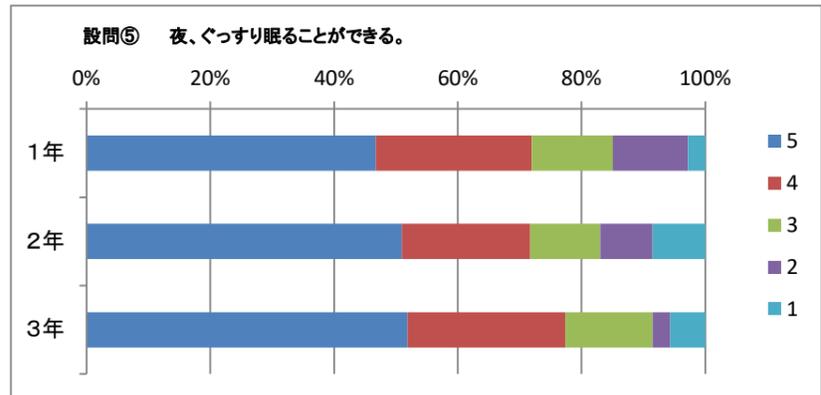
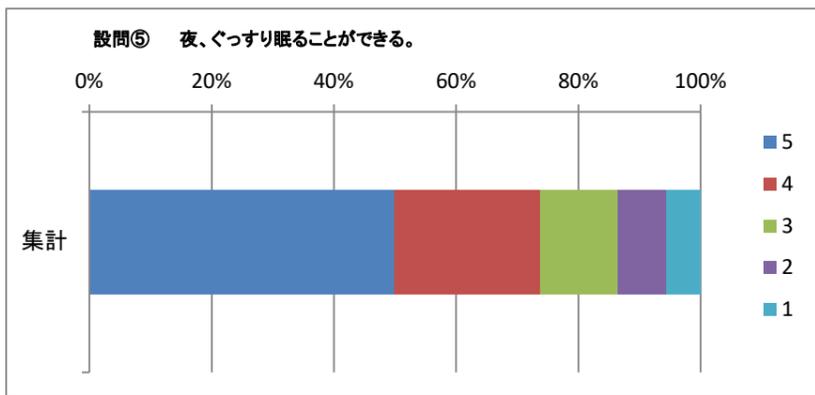
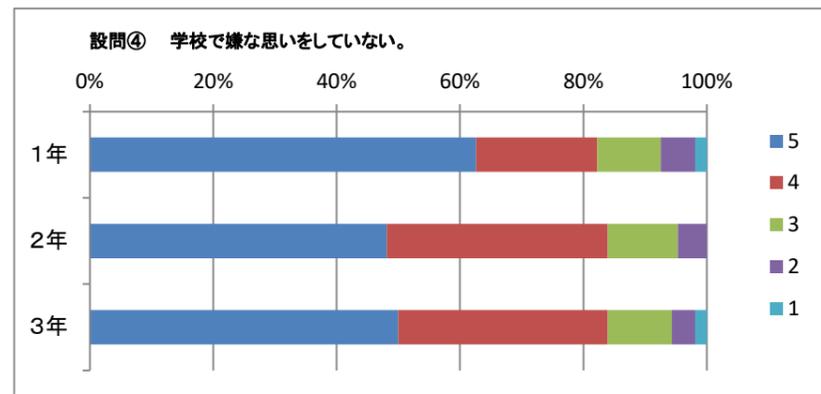
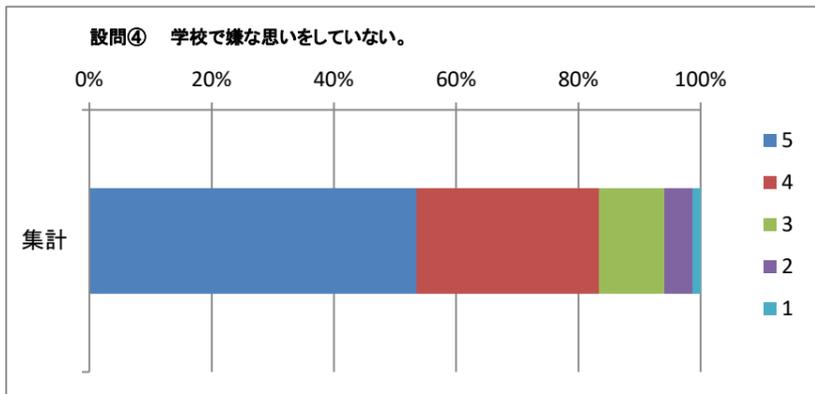
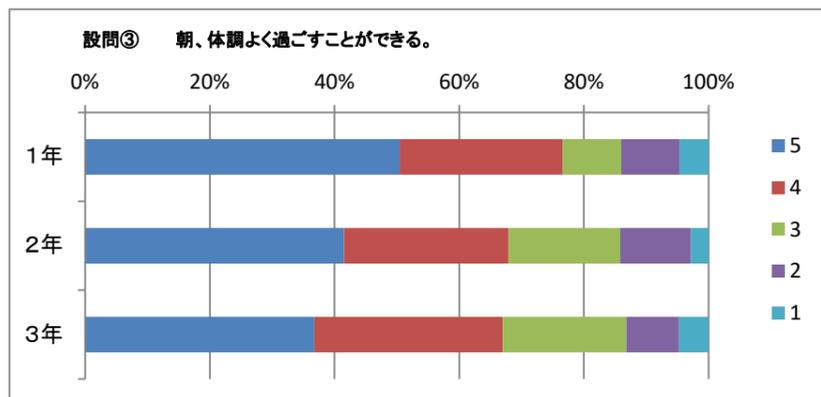
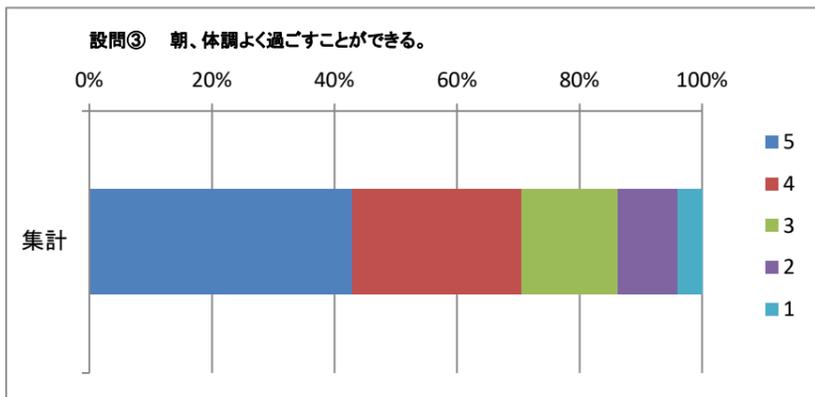
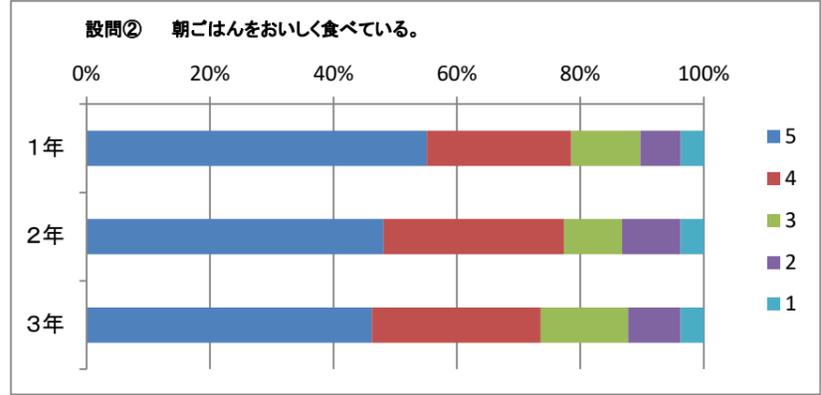
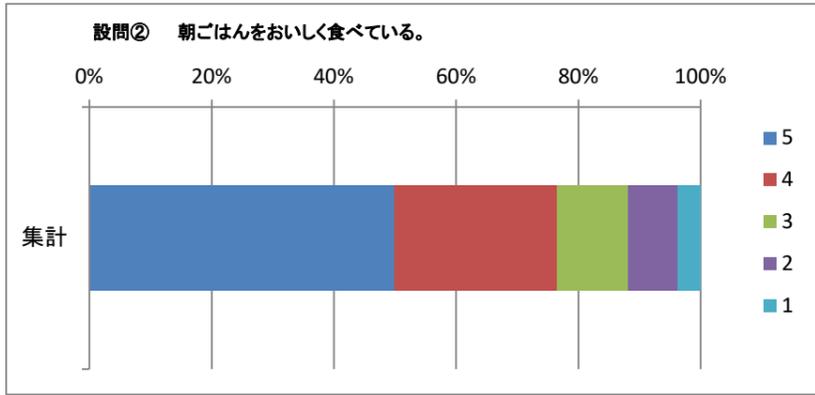
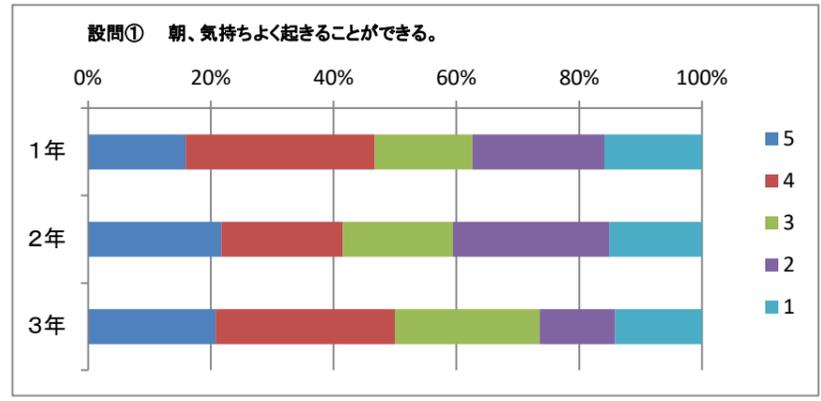
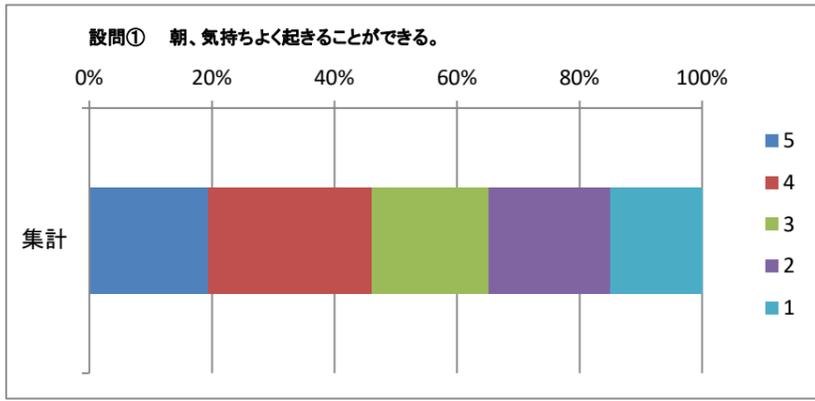


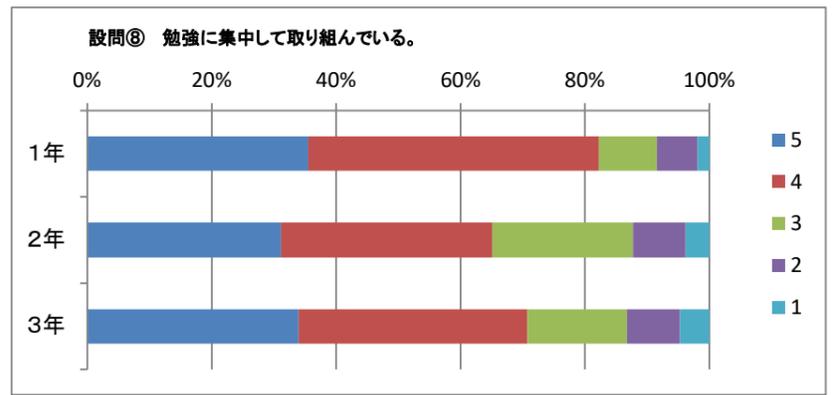
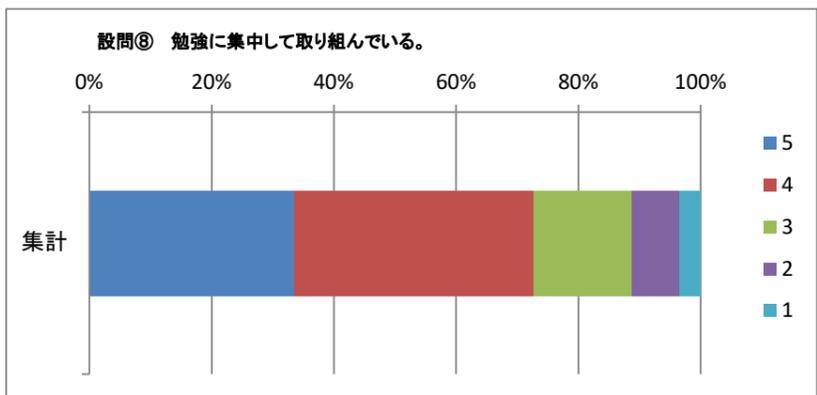
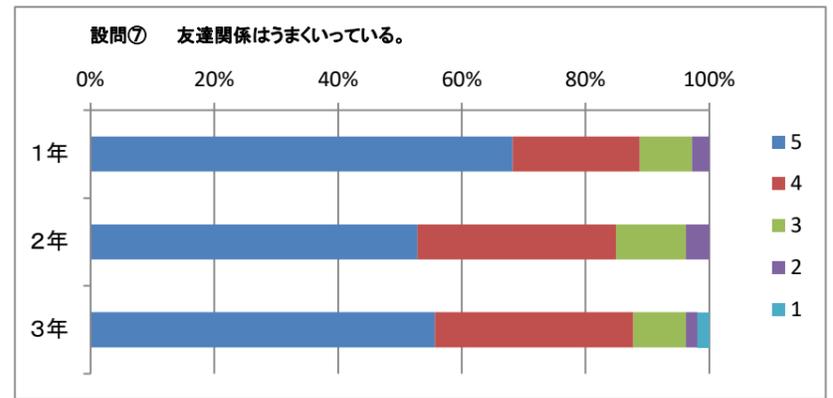
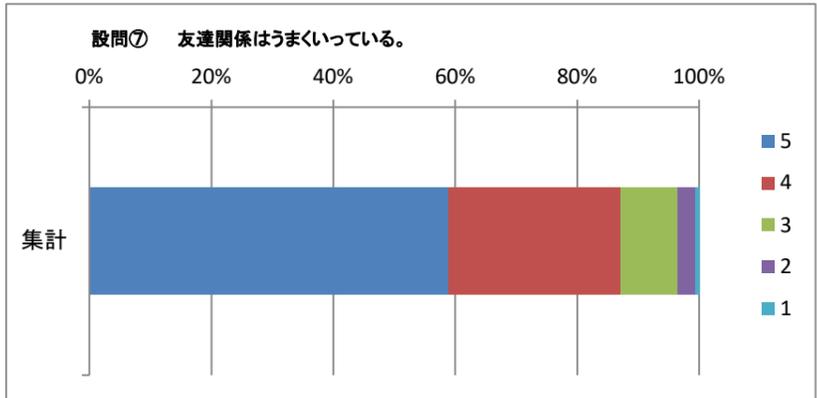
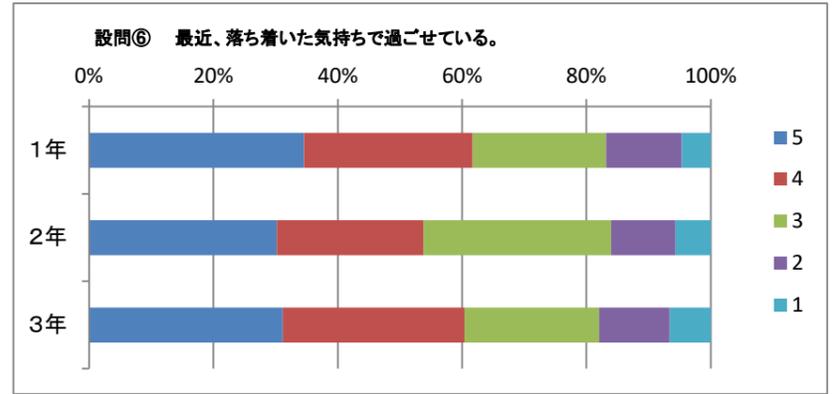
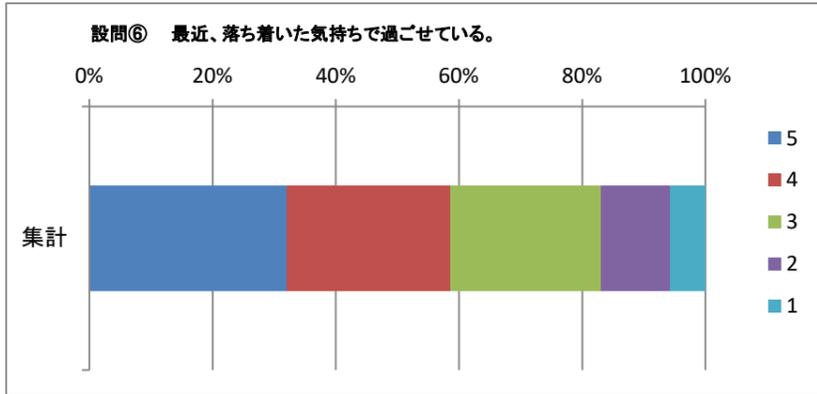






こころとからだのアンケート結果





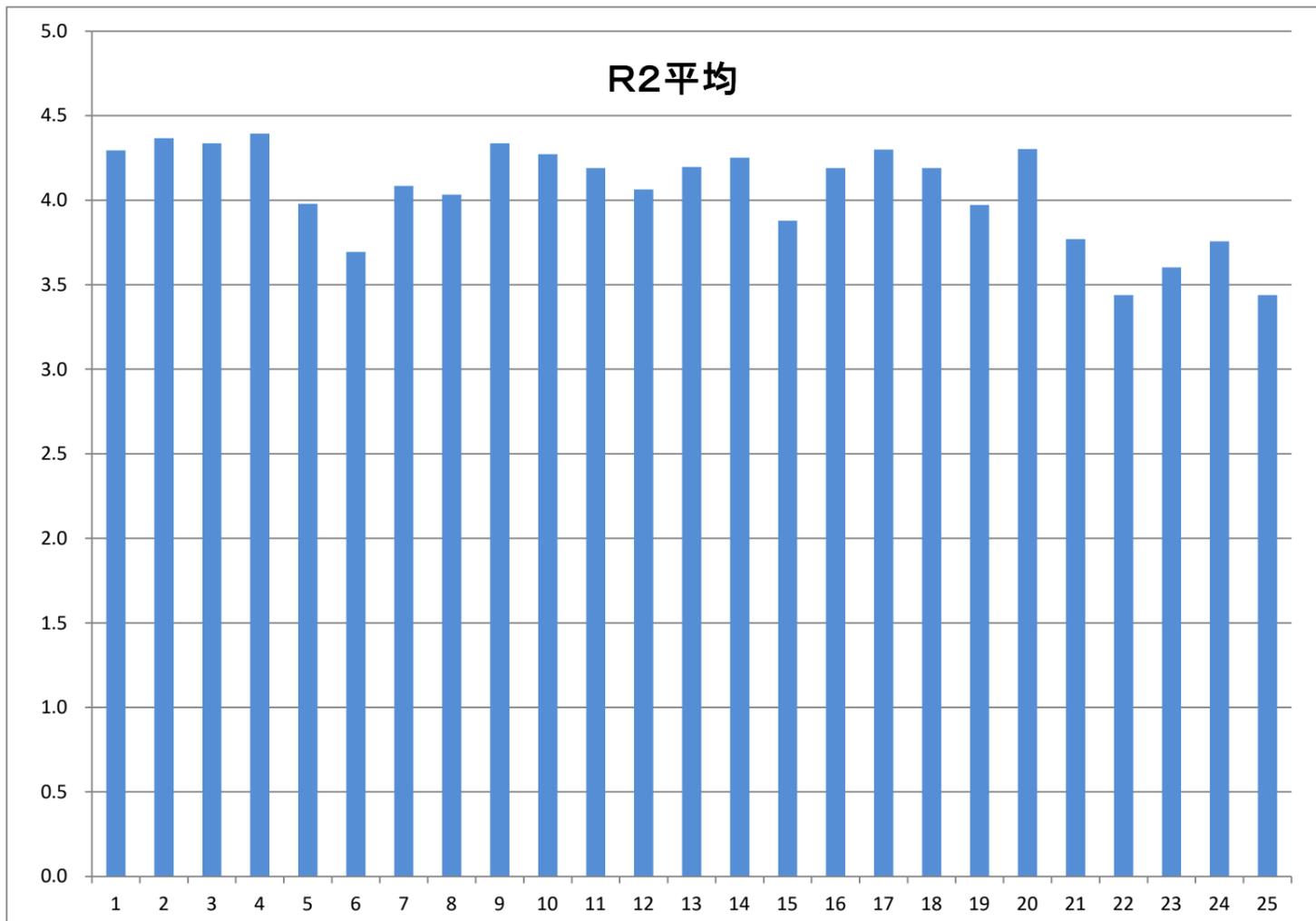
学校診断アンケート

■ R1年度より伸びた項目

■ R1年度より下回った項目

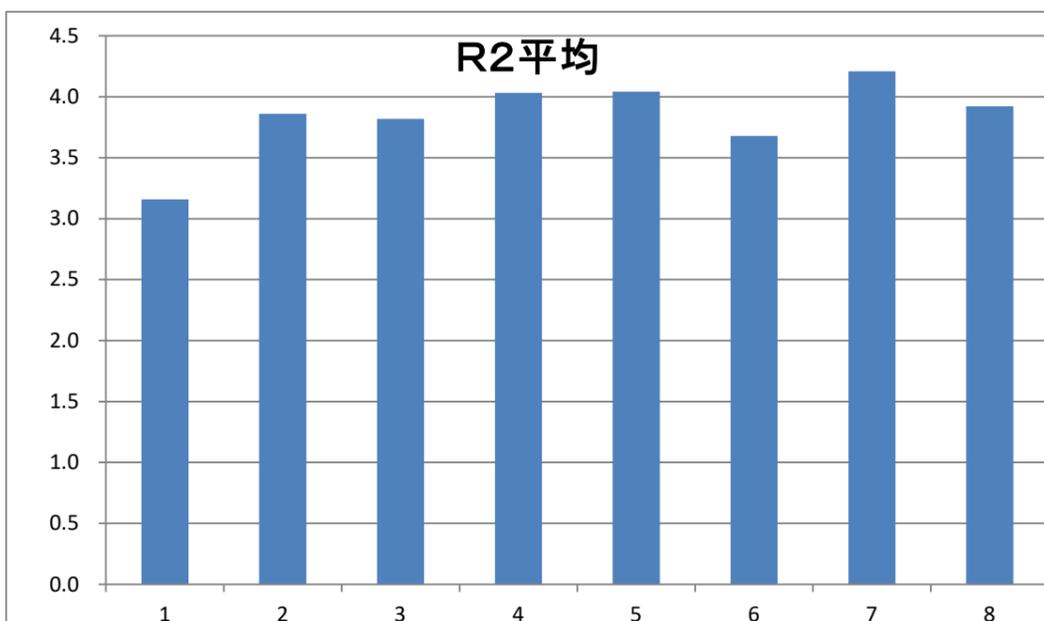
設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
R2平均	4.5	4.5	4.4	4.6	4.2	3.9	4.4	4.3	4.7	4.5	4.4	4.3	4.5	4.6	4.2
R1平均	4.3	4.4	4.3	4.4	4.0	3.7	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.1	4.2	4.3	3.8
H30平均	4.1	4.1	4.3	4.4	4.0	3.5	3.9	4.0	4.3	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	3.7

設問	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
R2平均	4.2	4.5	4.4	4.3	4.6	4.2	3.3	3.0	3.9	3.8
R1平均	4.2	4.3	4.2	4.0	4.3	3.8	3.4	3.6	3.8	3.4
H30平均	4.3	4.2	4.3	3.8	4.2	3.8	3.4	3.6	3.8	3.5



こころとからだのアンケート

設問	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
R2平均	3.2	4.1	4.0	4.3	4.0	3.7	4.4	3.9
R1平均	3.2	3.9	3.8	4.0	4.0	3.7	4.2	3.9
H30平均	3.1	3.8	3.8	3.9	4.0	3.5	4.1	3.6

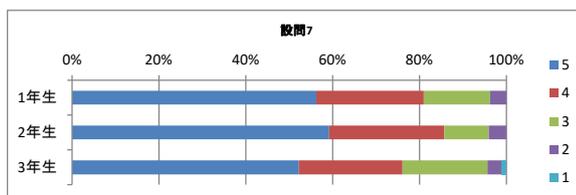
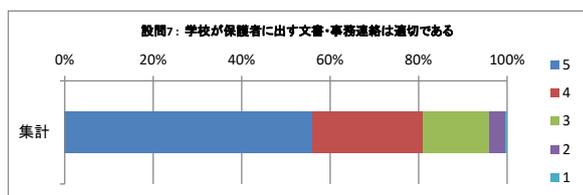
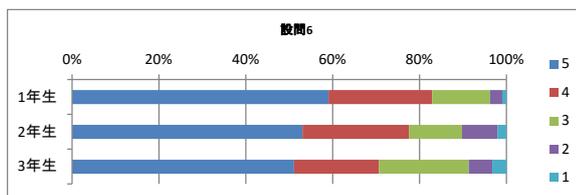
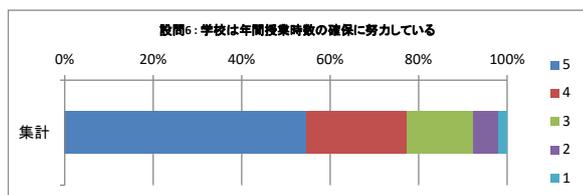
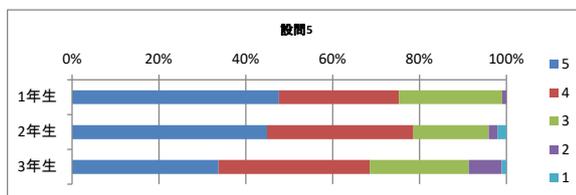
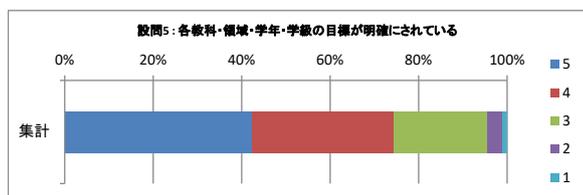
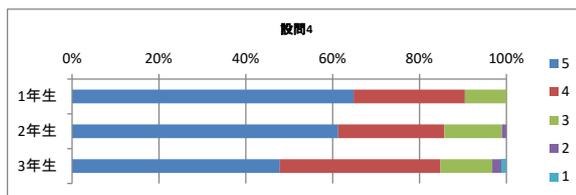
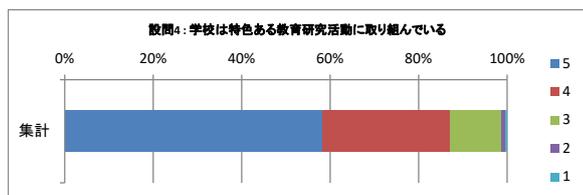
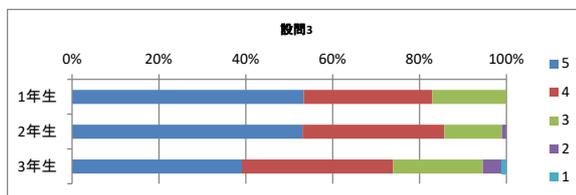
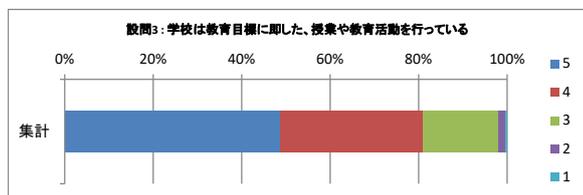
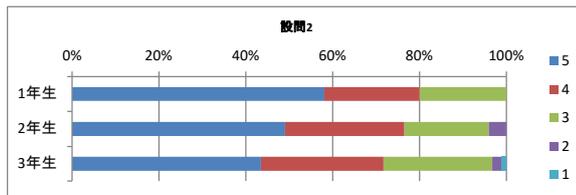
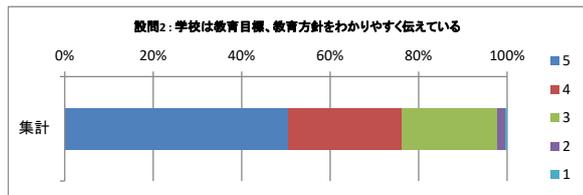
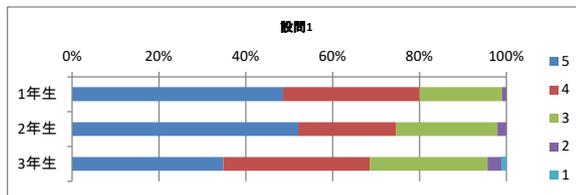
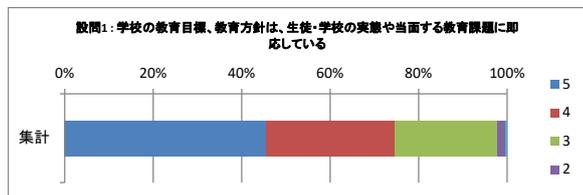


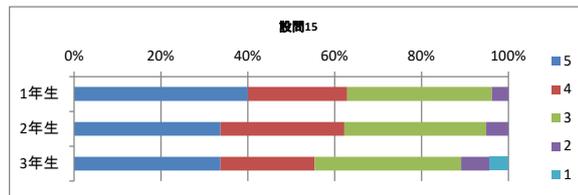
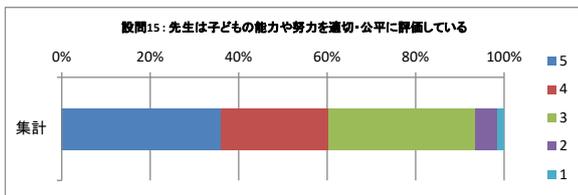
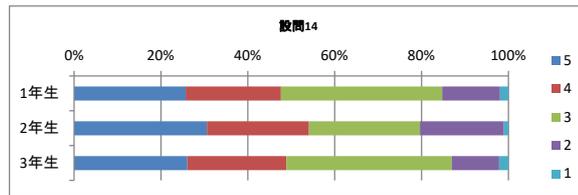
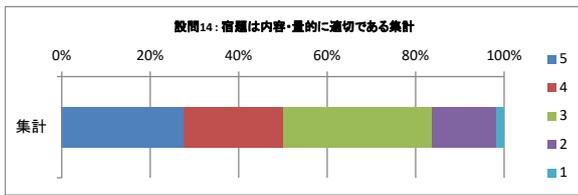
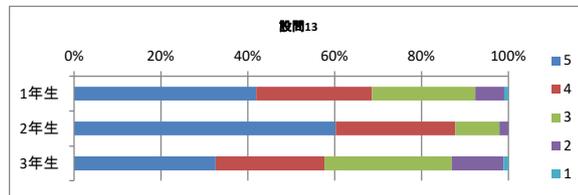
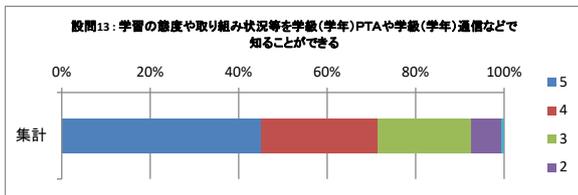
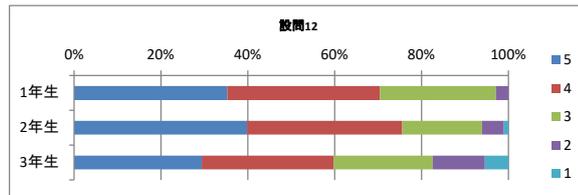
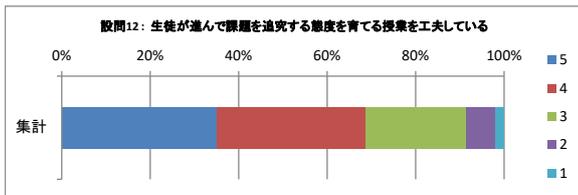
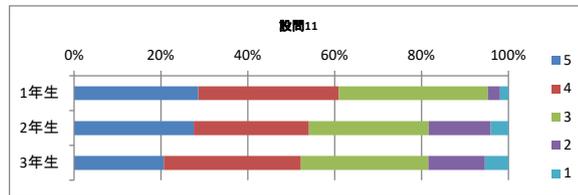
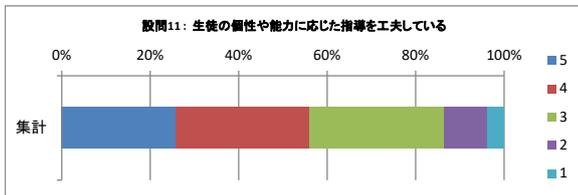
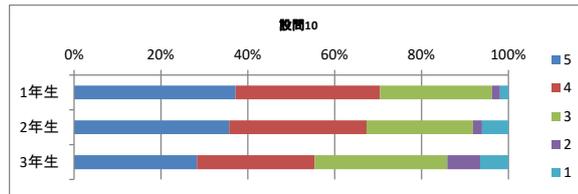
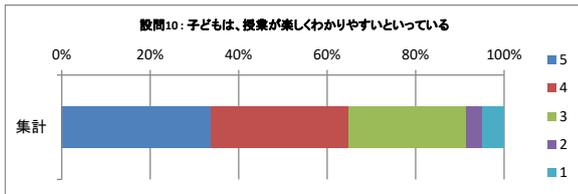
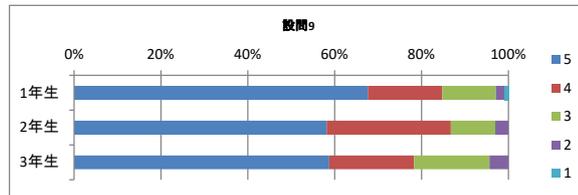
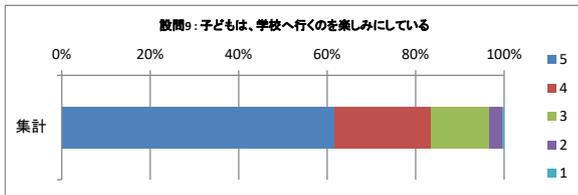
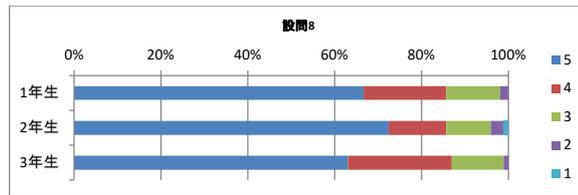
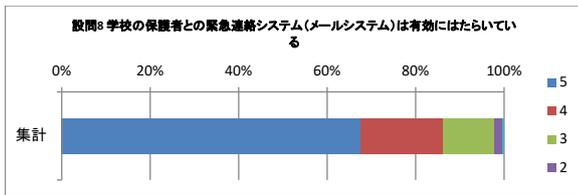
学年	在籍数	回答数
1年	107	105
2年	108	98
3年	107	92
合計	322	295

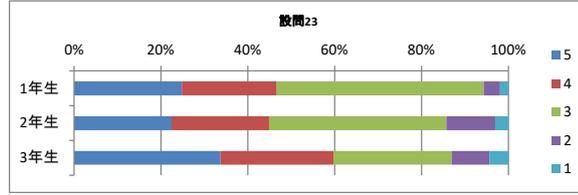
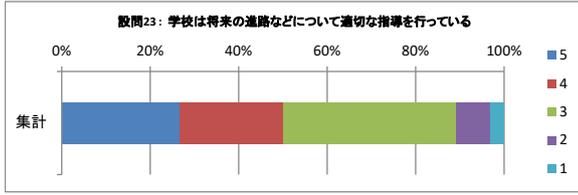
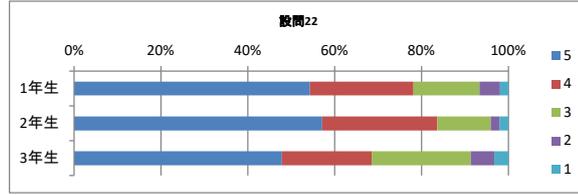
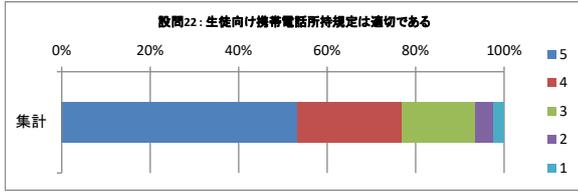
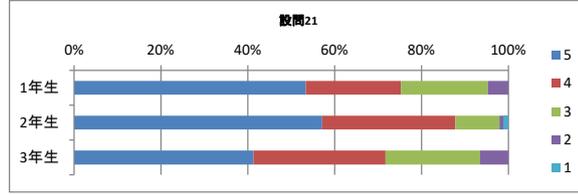
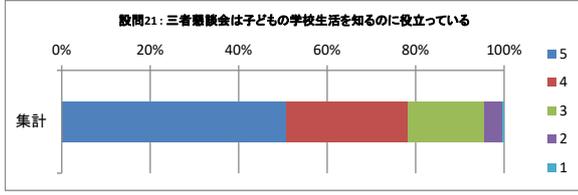
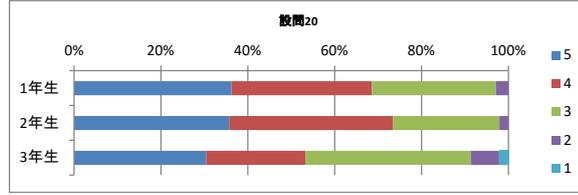
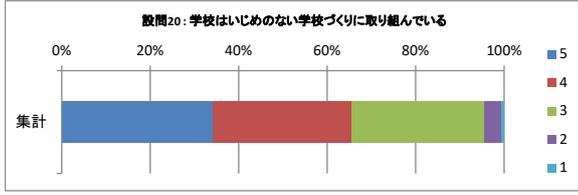
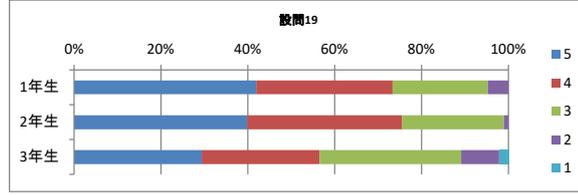
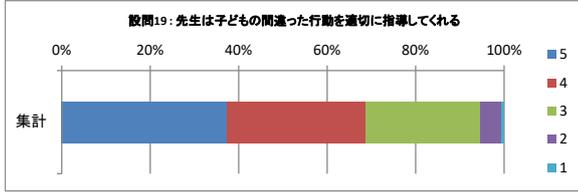
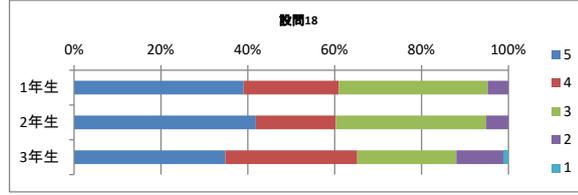
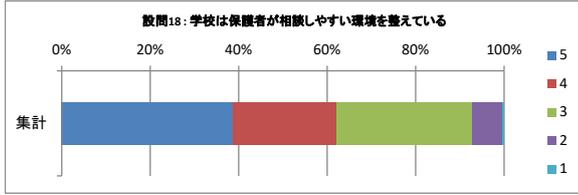
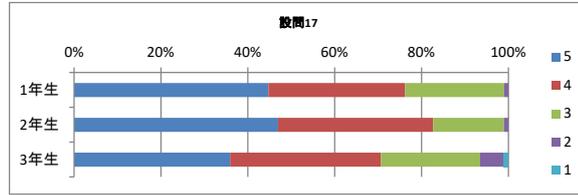
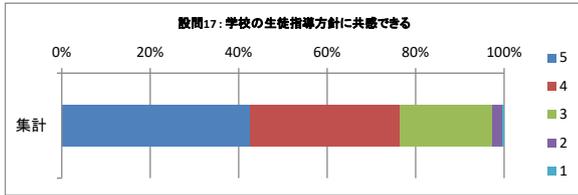
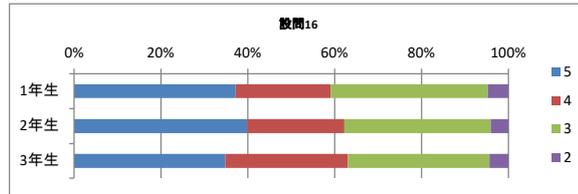
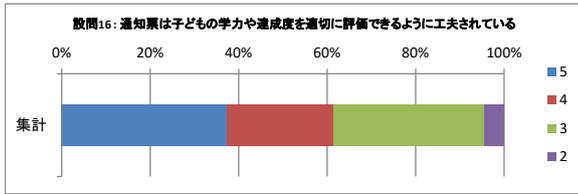
- 1 ■ よい
- 2 ■ ややよい
- 3 ■ 普通
- 4 ■ やや不十分
- 5 ■ 不十分

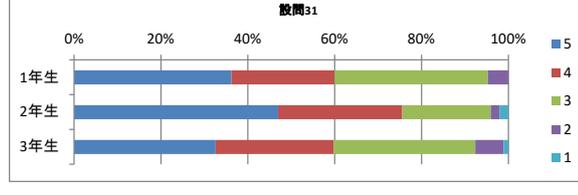
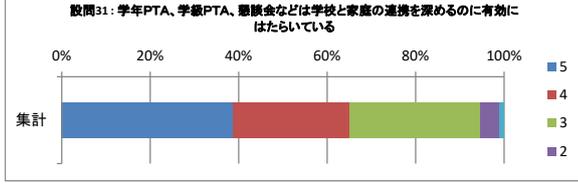
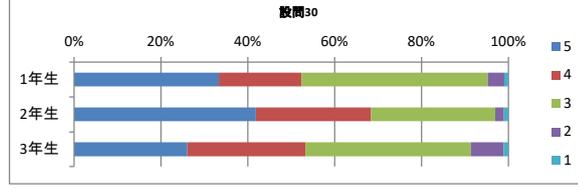
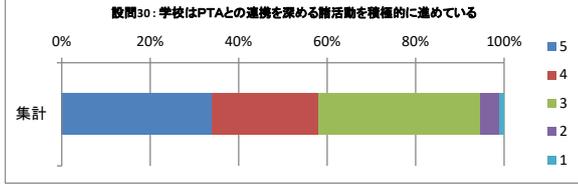
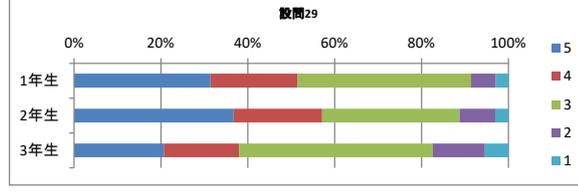
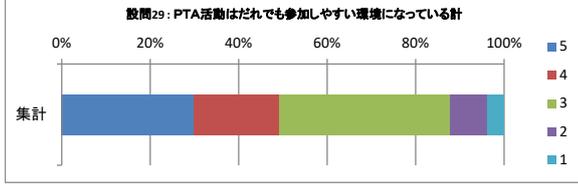
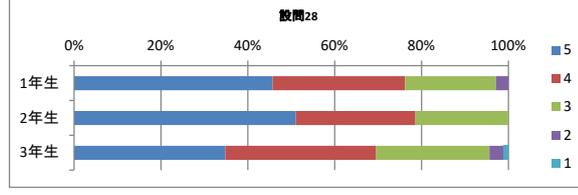
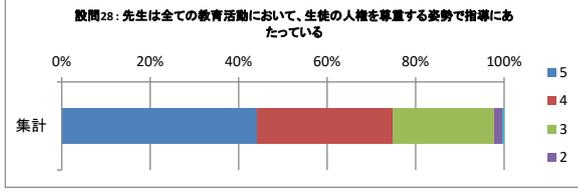
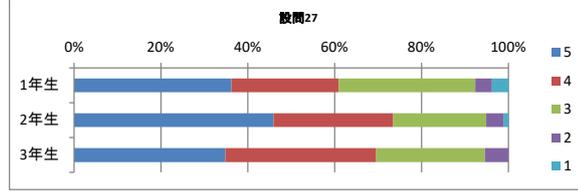
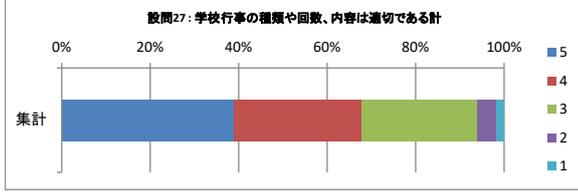
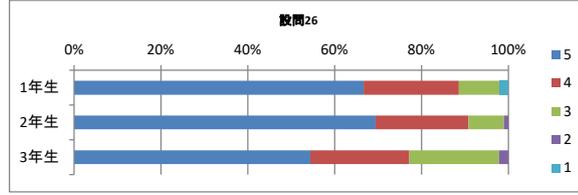
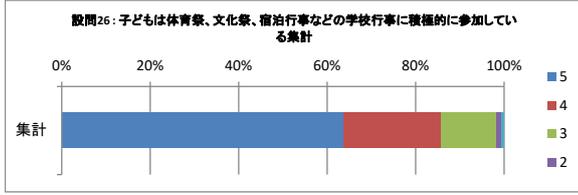
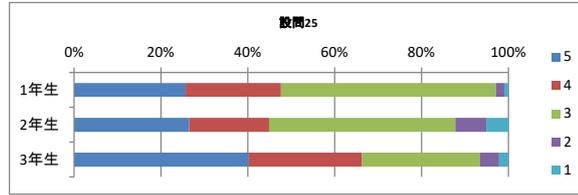
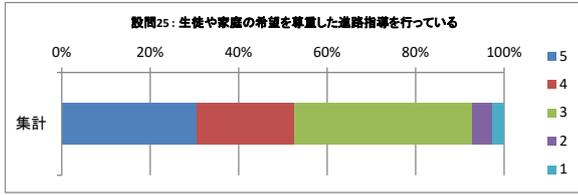
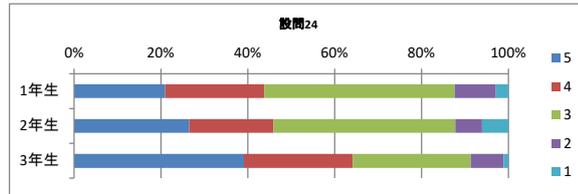
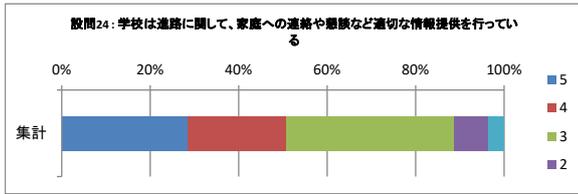
全体集計

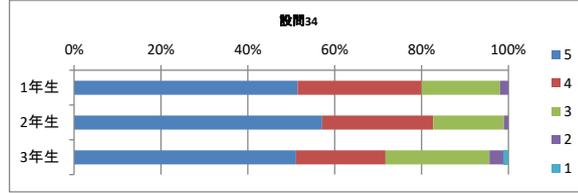
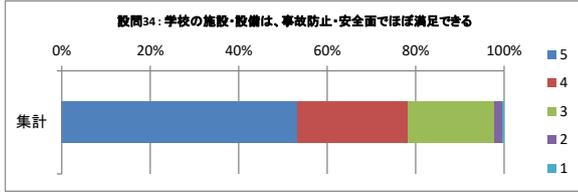
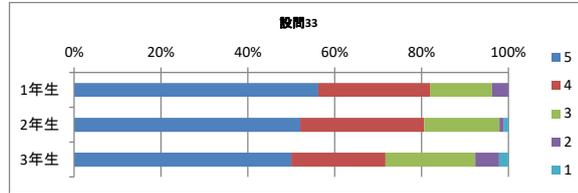
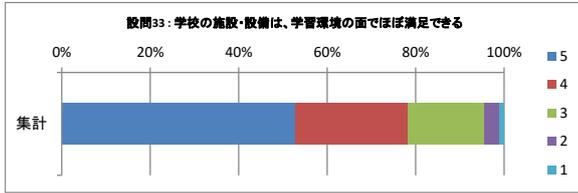
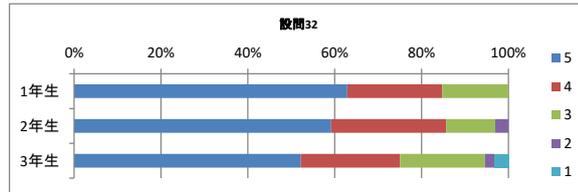
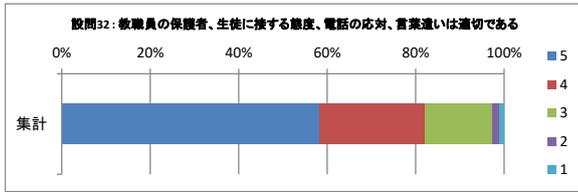
学年別集計











各項目の平均点

■ R1年度より伸びた項目

■ R1年度を下回った項目

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
R2年度	4.2	4.2	4.3	4.4	4.1	4.2	4.3	4.5	4.4	3.9	3.6	3.9	4.1	3.6	3.9
R1年度	4.0	4.0	4.0	4.2	3.9	4.0	4.2	4.5	4.2	3.4	3.3	3.6	3.9	3.3	3.6
H30年度	3.8	3.9	3.9	4.1	3.8	3.9	4.3	4.5	4.1	3.3	3.2	3.5	3.6	3.2	3.5

設問	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
R2年度	3.9	4.2	3.9	4.0	3.9	4.2	4.2	3.6	3.6	3.7	4.5	4.0	4.2	3.6	3.9
R1年度	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	4.0	4.0	3.4	3.5	3.5	4.3	4.0	3.9	3.6	3.8
H30年度	3.6	3.7	3.5	3.6	3.5	3.8	3.9	3.3	3.3	3.4	4.3	4.0	3.7	3.5	3.7

設問	31	32	33	34
R2年度	4.0	4.4	4.3	4.3
R1年度	3.9	4.1	3.9	4.0
H30年度	3.7	4.0	3.7	3.8

